

基本目標		I 人権が尊重される社会づくり														
課題		1 男女共同参画の意識の醸成														
施策の方向		①男女共同参画の意識啓発														
No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課	
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
1	1	男女共同参画社会づくりのための情報紙の発行	市民と協働により情報紙を発行し、市民の手に届くよう配布します。	【管理指標項目】 情報紙の発行回数 【目標値】 年3回 【6年度実績】 2回	情報紙「きらきら」を市民公募の編集委員5名と編集・発行し、学校や関係機関等に配布した。 第58号「多様な文化への理解～国際交流ボランティアの経験から～」(18,000部) 第59号「わたしがなりたい職業～ジェンダー平等の社会づくり～」(20,000部)	令和5年度より、発行回数を3回から2回に見直し、各号の内容を充実させるとともに、新たな配布先に市内中学校を加えたことで、広く周知を図ることができた。 更に、広報習志野に例年より大きく編集委員の募集記事を掲載したことで、新規委員の確保につながった。	読み手の関心事をとらえ、意識啓発につながる男女共同参画の特集記事となるよう取材先に工夫し作成する。 引き続き、情報紙の内容に合わせて配布先を見直し、より多くの方に読んでいただけるよう努める。	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	各号とも身近にある男女共同参画をテーマに取り上げ、学校や関係機関を通して配布し、読み手の意識啓発につなげた。 また、配布先に市内中学校を加え、より広い範囲の人に本紙が届くよう取り組んだ。	多様性社会推進課
2	2	男女共同参画週間における講演会などの実施	毎年行われる国の男女共同参画週間に併せ、講演会などを実施します。	【管理指標項目】 男女共同参画週間に併せた講演会などの実施回数 【目標値】 年1回 【6年度実績】 1回	男女共同参画週間(6月23日～29日)にあわせて講演会を開催した。 今年度は、市制施行70周年の冠事業として、ワーク・ライフ・バランスをテーマに、産業振興課と共同開催し、更に商工会議所の協力を得ることで連携を図った。 テーマ:「菊地弁護士と一緒に探る 多様な生き方・働き方」 参加者:会場203人	産業振興課と共同主催し商工会議所の協力のもと、男女共同参画と市内勤労者の労働に関する知識の向上・啓発を目的とした労働講演会とコラボし、ワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会を開催した。 10歳代～40歳代の参加率が、昨年度に比べて増加(18.5%→36.0%)し、例年以上に、幅広い年代層の参加につながった。 引き続き、若い世代の参加につながるような内容を検討していく必要がある。	令和7年度の男女共同参画週間に向け、運営委員会を立ち上げ、課題からテーマを考察し、幅広い世代の人に男女共同参画意識を持つきっかけとなるような講演会の実施に向け、準備を進めている。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	市制施行70周年の冠事業として、産業振興課と共同開催し、ブラッツ習志野にて203名に参加いただき、広く周知することができた。 講演後のアンケートにおいて8割以上の人が「参考になった」と回答し、男女共同参画に関して考える機会となった。 また、令和3年度以降は、中央図書館と連携し、関連書籍の展示を行うなど、男女共同参画について広く周知を行うことができた。	多様性社会推進課
3	3	広報紙、ホームページ等メディアの活用による啓発	男女共同参画センターで行っている事業や、男女共同参画に関する情報を、広報紙、ホームページ、ツイッター等を通じて発信します。	【管理指標項目】 男女共同参画に関する情報紙、ホームページ、ツイッター等による啓発回数 【目標値】 年10回 【6年度実績】 10回	・広報習志野、テレビモニター及び市ホームページ「男女共同参画週間事業」 ・広報習志野「男女共同参画に関する意識調査の実施」 ・広報習志野、X(旧ツイッター)、LINE、テレビモニター及び市ホームページ「LGBT講座」 ・広報習志野、テレビモニター及び市ホームページ「再チャレンジ支援講座」 ・広報習志野、X(旧ツイッター)、テレビモニター及び市ホームページ「女性に対する暴力をなくす運動」 ・広報習志野、X(旧ツイッター)、LINE、テレビモニター及び市ホームページ「パレレルキャリア講座」 ・広報習志野、X(旧ツイッター)、LINE及び市ホームページ「男女共同参画啓発講座」 ・広報習志野、X(旧ツイッター)、市ホームページ「きらきら編集委員募集・情報紙きらきら発行」 ・市ホームページ「パートナーシップ・ファミリーシップ制度に係る都市間連携協定の締結」 ・広報習志野「男女共同参画におけるアンコンシャス・バイアス」	各種講座の周知及び男女共同参画に関する情報の広報活動を実施した。男女共同参画に関して、継続的に広報を行い、広く意識の醸成に努める必要がある。	広報紙及び市ホームページに男女共同参画の情報掲載を行っていく。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	各種講座等の周知及び男女共同参画に関する情報発信を行った。 講座の参加者アンケートでは、参考になったとの回答が多く得られ、男女共同参画の意識醸成につながった。	多様性社会推進課
4	4	市職員に対する男女共同参画に関する研修の実施	新規採用職員を対象として、男女共同参画の理解を深める研修を実施し、男女共同参画の意識向上を目指す。	【管理指標項目】 市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施回数 【目標値】 年1回以上 【6年度実績】 1回	新規採用職員研修(後期)において、男女共同参画についての研修を実施。 (令和6年11月 受講者数:61名)	毎年、継続して実施していく必要がある。	新規採用職員研修(後期)の中で、男女共同参画に関する研修を予定している。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	研修を受講した多くの職員から、ジェンダーギャップの解消や男女共同参画社会の重要性について意見が出ており、男女共同参画の意識向上に繋がったと考える。	人事課
5	5	民生委員・児童委員に対する男女共同参画に関する啓発の推進	市民生活に直結している民生委員・児童委員を対象とする男女共同参画に関する啓発を推進し、研修の参加を促します。		男女共同参画の啓発のチラシを民生委員・児童委員へ配布した。	男女共同参画に関する啓発のチラシの配布など毎年、行っているが、民生委員・児童委員へ男女共同参画に関する相談等はほとんどないのが現状	今後も、民生委員・児童委員として、必要な知識を身につけられるような研修テーマを探していく中で、男女共同参画に関する啓発を促進していく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	毎年、継続して啓発のチラシの配布を行っていることから	健康福祉政策課
6	6	男女共同参画についての庁内啓発	市職員へ庁内啓発紙を発行し、啓発を行います。	【管理指標項目】 市職員への男女共同参画に関する庁内啓発紙の発行回数 【目標値】 年2回 【6年度実績】 2回	職員啓発紙「ビーナ通信」を発行した。 ・令和6年1月発行号「菊地弁護士と一緒に探る 多様な生き方・働き方を開催しました」 ・令和7年3月発行号「男女共同参画に関する市職員意識調査」	職員啓発紙「ビーナ通信」にて、職員への意識啓発を実施した。 引き続き、職員のためになるタイムリーなテーマを取り上げ、男女共同参画に関する理解促進のための啓発を行う必要がある。	職員啓発紙「ビーナ通信」は次年度2回発行予定。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	テーマとして、ワーク・ライフ・バランスに関する講演会の内容と認知度の低い性の多様性に関する言葉といった、市職員として知ってほしい内容を取り上げ、男女共同参画意識の醸成に努めた。	多様性社会推進課

		基本目標	I 人権が尊重される社会づくり												
		課題	1 男女共同参画の意識の醸成												
		施策の方向	①男女共同参画の意識啓発												

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
7	7	男女共同参画に関する講座などの開催	男女共同参画に関する講座などを開催します。	【管理指標項目】 男女共同参画に関する講座などの開催回数 【目標値】 年3回以上 【6年度実績】 年4回	令和6年8月、2月性の多様性講座 令和6年10月、11月再チャレンジ支援講座(全5回) 令和7年1月パラレルキャリア講座 令和7年3月男女共同参画啓発講座(全2回)	令和4年4月に内閣府で決定した「女性デジタル人材育成プラン」に基づき、就労に直結するデジタルスキルの習得を目的とした「女性のためのExcel基礎講座」(再チャレンジ支援講座)が昨年度好評だったことから、今年度も開催した。今年度も定員枠を超える応募があった。	引き続き、男女共同参画の意識啓発につながる講座を開催する。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	各講座にて、実施したアンケートでは、参考になったと回答した参加者が多く、男女共同参画に関する啓発となった。また市ホームページで講座の報告をし、参加者以外への情報提供を図った。	多様性社会推進課
8	8-1	事業所に対する男女共同参画に関する啓発	事業所に対して、商工会議所などの関係機関と連携し、男女共同参画に関する啓発を行います。		産業振興課と共同開催した男女共同参画週間事業の講演会では、商工会議所の協力のもと、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる市内事業所を紹介いただき、身近なところから働くママ社員の実体験を通した事業所の取り組みを発表いただいた。 また、職業によるジェンダーギャップをテーマに女性消防士を取材し、情報紙「きらきら」第59号に掲載。商工会議所を経由し、会議所会員に配布した。	情報紙「きらきら」第59号は、商工会議所を経由して、会議所会員に配布した。会議所会員以外の事業所への啓発について引き続き検討する必要がある。	年2回発行の情報紙「きらきら」にて、事業所における男女共同参画に関する情報を掲載し、商工会議所会員への啓発に取り組む。 会議所会員以外の事業所への啓発方法について引き続き検討を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	各事業所への男女共同参画社会づくり啓発紙「きらきら」の配布により、男女共同参画の取り組みについて考えるきっかけをつくることができた。	多様性社会推進課	
8	8-2	事業所に対する男女共同参画に関する啓発	事業所に対して、商工会議所などの関係機関と連携し、男女共同参画に関する啓発を行います。		令和6年6月に実施した「習志野市制施行70周年記念令和6年度男女共同参画週間事業講演会・労働講演会」において、習志野商工会議所や労働団体の広報協力により、多くの参加人数を集客し、開催できた。 また、同様のリーフレットを窓口にも配架し、周知に努めた。	特になし	引き続き、事業者が参加するイベント等の機会を活用し、周知に取り組む。 窓口への配架は引き続き継続する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	多様性社会推進課と協力することで、昨年度よりも周知の機会を増やすことができたため。	産業振興課	

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	I 男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	②男女共同参画に関する情報収集と調査研究

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
9	9	男女共同参画関係図書および情報の収集と提供	男女共同参画に関する図書および資料を整備し、提供します。		・貸出人数8人(11冊) ・閲覧者数0人 ・各種読講座にて、関連図書を展示し、情報提供を行った。 ・情報紙「きらきら」でおすすめ図書を紹介するコーナーを設けた。	各種啓発講座での展示や、情報紙「きらきら」にておすすめ図書を紹介することで、所蔵する図書の周知につなげるほか、中央図書館の協力により、ブックポスト経由での返却を受け付けることで、利用者の利便性向上を図っている。引き続き、利用しやすい環境整備について検討していく必要がある。	各種啓発講座での展示や、情報紙「きらきら」にておすすめ図書を紹介することで、図書貸出につながった事例があることから、継続して講座に関連した図書の紹介を行う。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	中央図書館の協力により、ブックポスト経由での返却ができるなど、利用者の利便性向上に努めた。また、各種講座での図書展示及び情報紙「きらきら」にておすすめ図書を掲載することにより、男女共同参画に関する情報提供を行った。	多様性社会推進課
10	10	男女共同参画に関する意識調査の実施	次期基本計画策定の資料とするため、市民、事業所及び市職員の男女共同参画に関する意識調査を実施します。		【管理指標項目】 市民、事業所および市職員の男女共同参画に関する意識調査の実施回数 【目標値】 現計画中に1回 【6年度実績】 1回	①男女共同参画に関する市民意識調査 対象:市内在住の18歳以上の男女2,000人を無作為抽出 有効回収率:32.8% ②男女共同参画に関する事業所意識調査 対象:令和3年経済センサス基礎調査結果を活用し、500事業所を無作為抽出 有効回収率:28.3% ③習志野市ワーク・ライフ・バランス推進に関する事業所調査 対象:令和3年経済センサス基礎調査結果を活用し、1,000事業所を無作為抽出 有効回収率:36.6% ④男女共同参画に関する市職員意識調査 対象:習志野市全職員(管理職(特別職含む)・一般職(再任用職を含む)・会計年度任用職員) 有効回収率:52.0%	市民、事業所および市職員の男女共同参画に関する意識調査で得た結果をもとに、次期計画を策定する。	令和6年度の意識調査の結果を、次期計画策定の基礎資料として活用する。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	意識調査を実施し、次期計画策定に活用できる基礎資料を得ることができた。

		基本目標	I 人権が尊重される社会づくり												
		課題	1 男女共同参画の意識の醸成												
		施策の方向	③国際交流を通じた男女平等意識への理解の促進												
No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標 実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
11	11	社会的性別（ジェンダー）の視点を持ち、国際交流の促進および国際理解に向けた情報の収集と提供	姉妹都市との交流を中心に、男女問わず、社会的性別（ジェンダー）の視点を持った市民の国際感覚の醸成を促します。		市国際交流協会に対し、補助金交付及び市庁舎分室の会議室の提供を行い、協会の活動を支援した。 令和6年度に実施した姉妹都市青少年交流事業においては、男女問わず、姉妹都市タスカルーサ市からは19名受入れ、習志野市からは20名をタスカルーサ市へ派遣した。 参加した両市の高校生は、ホームステイ等々として、生活環境や文化の違いを体験することができ、若い世代の国際感覚の醸成に寄与した。	令和8年度は、姉妹都市提携40周年事業及び姉妹都市青少年交流事業の実施予定年である。両事業を実施した最終年度は平成28年度であり、当時とは渡航費用や委託費が異なり、大幅に高騰している。予算編成や、国際交流基金からの繰り入れ額等の精査をおこなう。	タスカルーサ市側の体制も変化したことから、両市の重要視するもの、優先順位をきちんと明確にとらえ、タスカルーサ市と定期的に連絡を取り合い、計画を進めていく。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	6年ぶりとなる姉妹都市青少年交流事業において、大きなトラブルもなく遂行できた。	協働政策課

		基本目標	1 人権が尊重される社会づくり													
		課題	2 男女平等教育・学習の推進													
		施策の方向	①就学前における男女平等教育の推進													
No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
12	12	保育所・幼稚園・こども園における男女平等の保育・教育の推進	乳幼児の保育や指導において、男女平等の視点に配慮したカリキュラムを行っているかを点検し、必要に応じて見直しを行います。	【管理指標項目】 男女平等教育に関する内容 【目標値】 年3回 【6年度実績】 3回	各施設において見直しと修正を図ったカリキュラムを基に、職員の意識向上を年間を通して努めてきた。保育打ち合わせ等において、自分の言動や保育の内容等について話し合い、性別による決めつけをしないよう、意識を高めていけるようにした。	施設全体で性別による決めつけをしないよう、子ども一人一人の思いを尊重する保育ができるように、職員一人一人の意識をさらに高めていくことが課題である。	カリキュラムの見直しを継続して実施しながら、子ども一人一人の思いを尊重した保育を実施できるように、職員一人一人が自分の言動や保育内容を振り返ったり、会議や保育打ち合わせの場で取り上げたりする。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	自分の言動や保育内容について話し合う機会を設けたことで、性別による決めつけをしない意識が高まった。	こども保育課
13	13	保育・幼児教育関係者の男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修の実施	保育所・幼稚園・こども園職員に対して、男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修を実施します。		各施設の年間計画に基づき、人権研修を行ったり、チェックリストを利用し、職員自身で言動の振り返りを行ったりした。必要に応じて、所属長との面談を行った。	チェックリスト利用時は、自身の言動を振り返り意識しようとする姿が見られた。無意識に行っている言動に気づき意識を持続させることが課題である。	具体例を用いた振り返りを研修の中で実施したり、定期的に行ったりして、職員が自ら意識を高め継続できるようにする。また、定期的な所属長との面談を実施することで、職員同士で意識し合えるようにしていく。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	チェックリストの利用や所属長との面談を実施することで、職員自身の言動を振り返り意識を高めていった。	こども保育課

基本目標	1 人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	②学校における男女平等教育の推進

No.	事業 コード	事業名	事業内容	R6管理指標 実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
14	14	男女平等の視点を盛り込んだ人権尊重教育の推進	人権尊重教育の一環として、男女平等について学ぶ授業などを行います。		道徳の授業において男女差別の禁止や性別の違いなどに関わらず多様な価値観を持った人と共存していることを学習した。 小学校6年生の社会科や中学校社会の学習の中で、基本的な人権において男女平等、ユニバーサルデザインなどを学習した。	人権の歴史的な経緯や価値観を学ぶが、学校生活や私生活の中でどのように学習が生かされているのか評価がしづらい。	・道徳や社会科(公民的分野)といった教科の学習を通して、男女平等や性の多様性について推進していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	教科学習の中で男女平等や性の多様性について継続的に指導している。	指導課
15	15	男女平等の視点に立った教育相談、適応指導教室の実施	教育相談、適応指導教室においては、男女平等の視点に配慮し、個に応じた相談、指導を行います。		児童生徒、保護者に対し、男女平等の視点をもち、人権にも配慮して教育相談、適応指導教室の運営を行った。	人権教育に日頃から意識して取り組んでいる。 また、現代的な課題(発達障がい、LGBTQ等)に関わる研修会等に参加した。発達障がいへの理解をさらに深めていかなければならない。	人権教育を念頭に置き、教育相談、適応指導教室の運営を実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談の際に児童生徒の発達や特性、多様性についての理解に努め、実際の相談や指導を行うことができた。	総合教育センター
16	16	男女平等の視点に立った進路指導の実施	進路指導を行う上で、生徒や保護者に対し、男女平等の視点に配慮し、個に応じた指導を行います。		東邦大学との連携によって、生徒向けの講座や保護者向けの講座を実施し、理系進路選択支援を推進した。	市内及び隣接市にある理工系大学が東邦大学の他に、千葉工業大学や日本大学(生産工学部)があるため、さらに連携を推進する必要がある。	東邦大学との連携を継続するとともに、来年度は千葉工業大学との連携を推進していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	理系大学との連携をすることで、男女ともに理科離れを防ぐ取り組みを進めている。	指導課
17	17	男女平等の視点に立った職場体験学習の実施	職場体験学習を行う上で、男女平等の視点に配慮し、個に応じた職場体験学習に取り組めるようにします。		職場見学や職場体験では主体的に職場を選べるように配慮し、男女の隔てなく実施できた。	性別等の区別なく、児童生徒の興味関心を中心とした主体的な学びの場を広げていく必要がある。	児童生徒の興味関心を中心に主体的に職場体験できるように実施する。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	職場体験を実施する学校がコロナウィルス感染症蔓延時より戻ってきたが、男女の隔てなく体験学習を行っている。	指導課
18	18-1	校務分掌などにおける固定的性別役割分担の解消	性別にとらわれず、適材適所、能力開発の視点により教員の職務分担(校務分掌)を行います。		各学校において、校長が学校教育目標の実現に向け、性別や固定概念にとらわれず、個の特性や長所を生かした職務分担を行った。	性別にとらわれず、ミドルリーダー的役割を担う人材の育成が課題である。	業務によって性別が偏ることがないよう人材を配置するとともに、チームで取り組む体制を各学校が工夫する。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各学校の実情を鑑みつつ、適材適所、能力開発の視点で校務分掌を行っていた。	指導課
18	18-2	校務分掌などにおける固定的性別役割分担の解消	性別にとらわれず、適材適所、能力開発の視点により教員の職務分担(校務分掌)を行います。		・管理職が教員の資質能力を生かした配置を行った。 ・教員の経験や個性を生かし、また希望を考慮した体制づくりを行った。 ・チーム学校を推進するうえで男女のバランスに偏りがいよう配慮した。	男女の役割によって分担される事例は解消されている。校内のリーダー的役割の分掌に、女性の配置を一層多くすることが課題である。教員の資質向上が必要である。	・女性のリーダー育成に向けた啓発を各学校へ働きかける。 ・ICT活用の促進により分担されている業務の効率化を進める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女の役割によって分担される事例はかなり解消されている。各校のリーダー的役割の分掌について女性の割合を高める必要がある。教員の資質向上は必要であるが、女性が校内で重要な役割を果たしている学校が確実に増加している。	学務課
19	19	教職員の男女共同参画に関する研修への参加促進	県で主催する男女共同参画に関する研修への参加を促進します。		県で主催する男女共同参画に関する研修への参加を促した。	希望研修のため、研修に参加した人数が少数になってしまった。	引き続き、教職員に対して男女共同参画に関する研修への参加を促していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女共同参画に関係する研修について紹介し、研修への参加を促すことができた。	総合教育センター
20	20-1	キャリア教育の推進	男女ともに個性と能力に応じ、キャリア発達することによって社会的責任を果たし、自らの可能性を高めていく能力を育みます。		男女の区別の概念なく、個性と能力、興味と関心に基づきキャリア設計を発達段階に合わせて実施できた。	特別活動を要として学校教育全体を通してキャリア教育を推進していく必要がある。	各学年及び発達段階を考慮し、取り組んでいく。性の多様性を考慮し、男女隔てなく、行事や教科等で個性を尊重した学習活動を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	特別活動を要として、さまざまな教育活動の中で男女の隔てなく自己のキャリア形成を目指した学習の取り組みができていく。	指導課
20	20-2	キャリア教育の推進	男女ともに個性と能力に応じ、キャリア発達することによって社会的責任を果たし、自らの可能性を高めていく能力を育みます。		日常の学校生活において、生徒自身が社会的責任及び能力を養っている。また、学校教育や生徒指導の観点からみても、日々男女分け隔てなく教育指導を行っている。	特になし	学校行事に興味を持ってもらえるような企画を検討していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	日々の学校教育において授業・部活動だけではなく、男女ともに分け隔てなく参加できる文化祭・体育祭・予備会など、生徒自身が考え行動できるよう、社会的責任及び能力を養える教育環境を整備している。	習志野高校(学務課)

基本目標	1 人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	③家庭、地域における男女平等教育・学習の推進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標 実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
21	21	男女共同参画に関する講座などの開催や情報の提供	男女共同参画に関する講座などの開催や情報提供を行います。	【管理指標項目】 男女共同参画に関連する講座の実施回数 【目標値】 各公民館で年1回以上 【6年度実績】 全公民館延べ146回実施　うち男性参加17回	・全公民館において、父母が協力し子育てにかかわりが持てるよう、幼児家庭教育学級、育児講座等を実施した。	・男女共同参画に係るテーマで、開催日に配慮した講座開催とした場合でも、父親の参加は多くはなく、どの様に訴え、共に考えるきっかけづくりを行うかが課題である。	・引き続き、男女共同参画に配慮した講座を実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・幼児家庭教育学級・育児講座、PTA家庭教育学級において実施できた。	公民館
22	22	男女平等の視点に立った幼児・PTA家庭教育学級の実施	幼児家庭教育学級およびPTA家庭教育学級の実施について、男女平等や男女共同参画の視点に配慮し、日程や内容などの検討を行います。		・全公民館において、幼児家庭教育学級、PTA家庭教育学級を実施し、一部カリキュラムの内容を工夫するとともに土曜日に開催した。	・PTA家庭教育学級のテーマ選定は、原則として実施主体である各学校等のPTAであり、必ずしも男女共同参画がテーマとして選定されるわけではない。	・引き続き、幼児家庭教育学級での取組の継続および、PTAへの働きかけを実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・幼児家庭教育学級、PTA家庭教育学級において実施できた。	公民館
23	23	誰もが参加しやすい講座づくり	講座の実施について、誰もが参加できるよう日時・場所・保育などに配慮します。		・各公民館において実施する、親子講座において開催日を土日に配慮し実施した。 ・子ども講座において、保護者の送迎を考慮し土日開催に配慮した。 ・成人を対象とした講座においては保育対応を実施した。 性別にかかわらずなく、誰もが参加できる講座を実施した。	・成人講座における受講者は、子育てを終えた世代がほとんどであり、保育希望の予測が難しい。若年層をターゲットとした講座においても、同様である。	・引き続き、開催日等に配慮した講座の実施に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	親子講座や子ども講座の実施にあたり、各公民館において実施日に配慮した事業開催を行った。	公民館

基本目標	1 人権が尊重される社会づくり
課題	3 性の多様性の理解促進と差別・人権侵害のない環境の醸成
施策の方向	①多様な性を尊重する意識啓発

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
24	24	性の多様性に関する理解促進	性の多様性に関する正しい理解を促進するための啓発活動を行います。また、パートナーシップ制度について調査、研究を行います。	【管理指標項目】性の多様性に関する啓発の回数 【目標値】年2回 【6年度実績】8回	①パートナーシップ・ファミリーシップ制度に取り組む県内自治体と都市間連携協定を締結し、転出入に係る手続きの簡素化を図っている。今年度は新たに令和6年7月1日に3市、10月1日に4市が加入した。 ②3月1日に、全国の制度実施自治体で構成される「パートナーシップ制度自治体間連携ネットワーク」に加入した。 ③都市間連携協定について、市ホームページ、職員啓発紙に掲載し、制度周知を図った。 ④⑤性の多様性講座を2回(8月、2月)開催した。(参加者 15人)。 ⑥小冊子「セクシュアルマイノリティと人権」を購入し、講座参加者に配布した。 ⑦令和6年5月子育て支援コンシェルジュ養成講座にて「性の多様性の理解促進」に関して説明した。 ⑧宅地建物取引業協会東東支部に本制度に対する理解を促し、市と相互にホームページのリンクを貼ることで合意するなど、一定の理解を得ることができた。	習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の円滑な運営及び制度周知と並行して、引き続き性の多様性に関する啓発を行う必要がある。	性の多様性に関する啓発は、継続的な取り組みが必要であることから、引き続き性の多様性に関する啓発講座を実施する。令和6年2月に立ち上げたパートナーシップ・ファミリーシップ制度に係る担当者協議会を活用し、効果的な運営及び周知啓発に取り組む。	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	・令和4年6月1日に施行した習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度については、令和7年3月31日時点で13件の宣言を受領した。制度に取り組む県内自治体と都市間連携を締結するほか、全国の制度実施自治体で構成される「パートナーシップ制度自治体間連携ネットワーク」に加入することで、187自治体(令和7年3月1日時点)との連携を図ることができ、人権が尊重される社会づくりに貢献できた。 ・また、令和6年8月及び令和7年2月に開催した性の多様性講座では、幅広い世代に周知ができた。 ・宅地建物取引業協会東東支部に本制度に対する理解を促し、市と相互にホームページのリンクを貼ることで合意するなど、一定の理解を得ることができた。	多様性社会推進課
25	25	【新規】公的証明書などにおける性別欄の廃止などの周知	市が所管・使用する書類に公的証明書付けや事務の性質上必要であるものを除き、性別欄を廃止することおよびアンケート等で性別欄が必要な場合は、男女以外の選択肢の設定をすることについて庁内への周知を行います。		前回調査で公的書類性別欄の廃止について「廃止可」となっているものの継続使用されているものや「検討中」と回答していたものに対し、各課に追跡調査を実施した。 また、市民を対象とした意識調査等の実施に係る性別欄の表記について、職員への周知を行った。	公的証明書及びアンケート等の作成時の性別欄の掲載方法について、引き続き啓発を行う必要がある。	多様な性の理解促進のため、追跡調査を実施し、引き続き不要な性別欄削除と啓発に努める。	A:貢献できた	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	他部署の実施する意識調査(アンケート)の性別欄の表記について相談に応じるとともに、全庁に対し同様の周知を行った。 (例) 従来「男性・女性・その他」を 「選択肢を増やす」 提案1「男性・女性・左記に該当しない」 提案2「男性・女性・どちらでもない・わからない・こたえたくない」 「記述式」 提案3「性別()」 ※そもそも性別を必要とする調査なのか精査することも含め周知した。 (庁内インフォメーションにて通知、性的指向及び性自認・性別違和に関する対応指針に掲載)	多様性社会推進課
26	26-1	【新規】学校における性の多様性に関する理解促進	人権教育の中で、性の多様性に関する内容を取り入れ、児童・生徒への理解を促進します。また、必要がない場合は性別による区分をしないよう配慮します。		教職員を対象とした、性の多様性についての人権研修を各学校で1名以上実施してもらった。	性の多様性について、学校現場の教職員の理解促進を一層広めていく必要がある。	人権についての研修を各校で受講してもらい、理解を広めるように推進する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	性の多様性について人権研修動画を各校の担当者に視聴していただき、各校で生の多様性についての理解を広めた。	指導課
26	26-2	【新規】学校における性の多様性に関する理解促進	人権教育の中で、性の多様性に関する内容を取り入れ、児童・生徒への理解を促進します。また、必要がない場合は性別による区分をしないよう配慮します。		各学校における性教育の中で性の多様性についても取り上げるよう依頼した。	各学校で計画している外部講師(助産師)による講演の中で性の多様性についても触れているが、多くの内容を取り扱うため、深く掘り下げるのが難しい。	各校と担当講師との打ち合わせの中で、性の多様性についても講演内容に含まれることを確認し、引き続き取り扱いを依頼する。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	各校で計画している助産師による講演では多くの内容を取り扱うため、時間の関係で深く掘り下げるのが難しくかった。	保健体育安全課
27	27	【新規】市職員に対する性の多様性に関する研修などの実施	新規採用職員研修において、性の多様性に関する内容を盛り込み、性の多様性に関する理解を促進します。	【管理指標項目】市職員に対する性の多様性に関する研修の実施回数 【目標値】年1回 【6年度実績】1回	新規採用職員研修(後期)において、性の多様性に関する理解を深める研修を実施。(令和6年11月 受講者数:61名)	毎年、継続して実施していく必要がある。	新規採用職員研修(後期)の中で、性の多様性に関する内容についての研修を予定している。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	研修を受講した職員は、「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」や「LGBT」、「性の多様性」といった言葉を印象に残ったキーワードにあげるなど、研修を通じて人権を尊重することの大切さを学んだため。	人事課
28	28	【新規】教職員の性の多様性に関する研修などへの参加促進	県が主催する性の多様性に関する研修などへの教職員の参加を促進します。		教職員が、LGBTQに関する研修に参加した。	市内各幼稚園・こども園・小学校・中学校から各1名の参加となった。より多くの職員が研修できるように促す必要がある。	引き続き、性の多様性に関する研修などへの教職員の参加を促進していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	性の多様性や性教育に関する研修に参加するように促すことができた。	総合教育センター

		基本目標	1 人権が尊重される社会づくり										
		課題	3 性の多様性の理解促進と差別・人権侵害のない環境の醸成										
		施策の方向	②人権侵害のない環境に向けた啓発										

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
29	29	人権尊重についての広報と啓発	人権啓発のパンフレット等の配布や広報紙により人権強化週間などの周知を行います。また、人権擁護委員の人権啓発活動をサポートします。		広報習志野へ人権週間及び人権相談案内の掲載、人権啓発冊子・ポスターを各公共施設に配布したほか、人権擁護委員が行う人権教室、各種コンテスト、イベントにおける啓発活動等の支援を行った。また、「虐待・暴力いじめ・差別から自身を含む大切な人を守る都市宣言」の宣言文を各啓発講座で配布を行った。	人権教室については、実施時期が3学期に集中しており、人権擁護委員の負担が大きくなっている。今後は、年度当初の周知を拡大し、実施時期の平準化を図ることが必要である。	法務省等各関係機関の作成するパンフレット、ポスターを活用した啓発活動を実施する。 また、人権擁護委員が主体となって行う、人権教室や標語、作文、ポスター原画の各コンテスト実施に係る支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	法務省等各関係機関が作成するパンフレット、ポスターを活用した啓発のほか、人権擁護委員が主体となって行う人権教室や標語、作文、ポスター原画の各コンテストを実施し、人権に対する意識の醸成を図った。	多様性社会推進課
30	30	【女性活躍】ハラスメントの防止に向けた啓発	セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントに関する認識を深め、被害防止に向けた啓発を行います。		男女共同参画啓発講座で家族で取り組む家事・育児に関する講座を実施した。 情報紙「きらきら」第59号にて、ハラスメントについて掲載したほか、東邦大学にてデートDVについて講義を行った。	今年度は講座や講義を通じて、幅広い世代への周知を行った。今後も、テーマにあわせて、啓発の対象や手法を変えて継続的に取り組む必要がある。	引き続き啓発方法や啓発機会の検討を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	育児休暇と家事参画について取り上げ、市内幼稚園、保育園へ配布し、広く周知を行った。	多様性社会推進課	
31	31-1	【女性活躍】働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	商工会議所などと連携・協力し、誰もが働きやすい雇用環境を確保するため、セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止対策の周知に努めます。		産業振興課と共同開催した男女共同参画週間事業の講演会にて、商工会議所の協力のもと、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる市内事業所を紹介してもらい、その社員が講演会にてワーク・ライフ・バランスを意識した事業所の取り組みや体制、また、育児経歴について発表した。 商工会議所と話し合いが行われた件は???	事業所の働きやすい雇用環境や取り組み、育児と仕事に関する講演会を通じて、幅広い世代に周知を行った。	引き続き商工会議所等との連携した啓発に向け、協議を進めていく。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	引き続き商工会議所等と連携した取り組みの実施に向け、協議を進めていく。	多様性社会推進課	
31	31-2	【女性活躍】働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	商工会議所などと連携・協力し、誰もが働きやすい雇用環境を確保するため、セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止対策の周知に努めます。		個々の労働者と使用者の間で生じた、パワハラ、セクハラなどの労働関係のトラブルを解決するための窓口を広報紙やホームページにて周知した。 多様性社会推進課より依頼を受け、DVIに関する総合相談窓口案内の記載されたチラシとカードを窓口にて配架し、周知に努めた。	特になし。	引き続き、ホームページや広報紙等を活用しながら、制度周知に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	継続して広報習志野やホームページにて広く市民に周知が行えたため。 多様性社会推進課と協力して窓口にて周知が行えたため。	産業振興課	
31	31-3	【女性活躍】働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	市職員や教育関係者に対し、セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止に向けた研修や、被害者の支援などを実施します。		・依頼のあった学校において不祥事根絶研修を実施した。 ・状況に応じ、校長会議にてわいせつ・セクハラ及び児童生徒への性暴力等への対応やパワハラについての啓発説明を行った。	セクハラをはじめとしたハラスメントの防止や不祥事の根絶に向けて、当事者意識、切実感をもつことができるよう、継続的に研修を実施する必要がある。	管理職や臨時の任用職員、会計年度任用職員等に対しての研修を実施し、ハラスメント防止に向けた研修の充実を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	教育委員会としてのパワハラ・セクハラについての対応を定め、校長会議等で啓発するとともに、各学校での不祥事根絶研修に教育委員会職員を派遣し、各種ハラスメントの防止についての研修を実施することができたため。	学務課	
31	31-4	【女性活躍】働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	市職員や教育関係者に対し、セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止に向けた研修や、被害者の支援などを実施します。		主なもの ・労務管理研修(5級昇格者)やリスクマネジメント研修(6級管理職)を実施し、ハラスメントにおける、管理・監督者としての役割を学んだ。 【労務管理研修】令和6年12月16日、受講者数:26名 【リスクマネジメント研修】:令和6年8月8日:33名)	ハラスメントについては、全ての職員が正しい理解と防止するための方策を学ぶ必要がある。	全ての階層別研修において、ハラスメント防止に関する内容を盛り込む。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	管理・監督者に対する研修に加えて、2・3・4級昇格者を対象とした研修においても、同僚、後輩、部下との関わり方について学ぶなど、ハラスメント防止に向けた取組を実施したため。	人事課	
32	32	性の商品化を防ぐための啓発	性の商品化を防ぐため、有害ビラや看板の撤去などを行います。		高架下や壁の落書きを消す塗りなおしを依頼。	塗りなおした後からまた新たな落書きが見つかることがある。	引き続き児童生徒の通学路や日常使う場所を重点的にパトロールを行い、環境浄化につとめる。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	該当する落書きなどをパトロールで見えし、他課と連携して消すことができたため。	青少年センター	

基本目標		I 人権が尊重される社会づくり												
課題		4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応												
施策の方向		①DV防止のための広報・啓発												

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
33	33	DVIに関する啓発	啓発パンフレットの配布や 広報紙、ホームページ等によりDVは人権侵害であること や「女性に対する暴力をなくす運動」の周知について 広報、啓発を行います。	【管理指標項目】 児童虐待防止への啓 発回数 【目標値】 年1回以上 【6年度実績】 5回	「女性に対する暴力をなくす運動」は11月に広報 志野に掲載、テレビモニターによる放映を行うほ か、市庁舎のライトアップ、男女共同参画推進団 体によるDVに関する掲示を行った。また、11月は児童 虐待防止推進月間であることから子育て支援課と 連携し、オレンジリボン運動とあわせて、DV防止を 表すパープルリボン運動の啓発のため、市庁舎階 段をパープルリボンで装飾した。 ・東邦大学にてデートDVに関する講義を行った。	DVIに関する啓発及び情報提供・相談窓 口の啓発に努める必要がある。 今後より多くの市民にDVに関する啓 発、情報提供、また相談窓口の周知を効 果的にできるよう、掲示等の工夫を検討 する必要がある。	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」 の広報紙掲載及びテレビモニター掲載を 予定している。 今後多くの人に啓発を行うため、周知・ 啓発の方法を検討する必要がある。	S:大いに貢献 できた	S:大いに貢献 できた	S:大いに貢献 できた	S:大いに貢献 できた	S:大いに貢献 できた	S:大いに貢献 できた	子育て支援課と連携し、オレンジリ ボン運動とあわせてパープルリボン 運動にて啓発を行い、その他様々 な方法で周知・啓発を行った。	多様性社会推進課	
34	34	児童虐待防止への啓 発	ポスターやパンフレットの配 布、研修などにより、児童 虐待防止の啓発を行いま す。		児童虐待防止の啓発活動 ①イオン津田沼にて啓発活動 ②広報誌掲載 ③テレビ広報動画配信 ④市庁舎内パネル展示 ⑤ならしのこどもを守る地域ネットワーク主催研修 会	特になし	引き続き、児童虐待防止の啓発活動とし て、ポスターやパンフレットの配布、研修 会の開催を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	11月の児童虐待防止推進月間を 中心に庁内外で啓発活動を行うこと ができたため。	こども家庭課(旧:子育て 支援課)	
35	35	児童・生徒の発達段階 に沿った人権尊重の視 点からの性教育の推進	児童・生徒の発達段階に 応じて、男女の成長の違いや 生命誕生の仕組みを学習 し、児童・生徒が男女対等 の立場で、互いの人権を尊 重し合う教育を実施しま す。			市立各小中学校での保健の授業等において、発達 段階に応じてエイズや性に関する学習を行い、男 女が尊重し合う資質を養う教育を実施した。	性の多様性(LGBTQ)に関する理解をさら に深めるとともに、児童・生徒が多様な 価値観を尊重できるよう支援していく 必要があることである。	引き続き、学習指導要領に沿った性教育 を実施し、男女が互いの人権を尊重する 態度を育成するとともに、性の多様性 についての理解促進を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	市立各小中学校において発達段階 に応じた性教育を実施し、児童・生 徒が互いの人権を尊重する意識を 育む機会を提供できたことから、本 事業に貢献できたと評価する。	保健体育安全課
36	36-1	【新規】 デートDVIに関する啓発	デートDVIに関する広報、啓 発を行います。		・令和6年7月に東邦大学健康科学部の学生に対 して「デートDVI」について講義。 ・令和6年11月に市庁舎1階展示スペースで行われ た「女性に対する暴力をなくす運動」において、デー トDVIに関するチラシの設置及び配布を行った。	・若い世代に対して啓発する機会に限 られる中で、今年度は東邦大学健康科 学部の学生を対象とした研修をとおし て、大学生にデートDVIについて啓発 することができた。 引き続き、若い世代への広報・啓発の 方法について検討する必要がある。 ・職員が県立高校で開催された県主 催のDVセミナーにおける「デートDV 講座」を見学した。今後の啓発方法 に活かしていく。	引き続き、様々な機会をとらえた啓 発方法を検討する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献 できた	S:大いに貢献 できた	令和6年7月に実施した東邦大学 健康科学部の学生に対する講義 では、70人ほどの学生が受講し、 若い世代への啓発につながった。	多様性社会推進課	
36	36-2	【新規】 デートDVIに関する啓発	生徒に対して、デートDVIに 関する啓発を行います。		各学校における性教育の中でデートDVIについても 取り上げるよう依頼した。	各学校で計画している外部講師(助 産師)による講演の中でデートDVIにつ いても触れることはできるが、多く の内容を取り扱うため、深く掘り下げ ることが難しい。	各校と担当講師との打ち合わせの中 で、デートDVIについても講演内容 で取り上げるよう、依頼する。	C:貢献できな かった	C:貢献できな かった	B:あまり貢献 できなかった	C:貢献できな かった	C:貢献できな かった	C:貢献できな かった	A:貢献できた	各校で計画している外部講師(助 産師)による講演では多くの内容 を取り扱うため、時間の関係で深 く掘り下げることが難しかった。	保健体育安全課
36	36-3	【新規】 デートDVIに関する啓発	生徒に対して、デートDVIに 関する啓発を行います。			小・中学生を対象としてデートDVIに特化した活動は 特に実施していない。	デートDVIについては小中学生にと って認識しづらい、あるいは経験が まだ乏しい環境であるので、理解が 深まらない現状がある。	ポスター等による啓発を行い、自ら が体験した際や見聞きた際の相談 窓口などの周知を行っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献 できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献 できなかった	デートDVIに絞った啓発活動は できていないが、ポスターや人権 啓発の一環として引き続き行っ ていく。	指導課

基本目標	1 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナー間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	②DV被害者が安心して相談できる体制の整備(重点施策)

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績(具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	評価の理由	
37	37-1	各種相談員のDV等に関する相談技術の向上	DV啓発研修や男女共同参画に関する研修への参加により、多様化する相談内容に適切に対応します。	【管理指標項目】相談員のDV研修などの参加回数 【目標値】年2回以上 【6年度実績】6回	千葉県等主催のDV研修に参加した	特になし	今後も継続して研修に参加していく	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	目標値以上に研修に参加した	こども家庭課 (旧:子育て支援課)
37	37-2														子育てサービス課 (旧:子育て支援課)
37	37-3	各種相談員のDV等に関する相談技術の向上	DV啓発研修や男女共同参画に関する研修への参加により、多様化する相談内容に適切に対応します。	【管理指標項目】相談員のDV研修などの参加回数 【目標値】年1回以上 【6年度実績】2回	相談員のDV研修などへの参加回数2回	スーパービジョン研修や教育相談研修を通して、講師の先生からDVを含めた多様な相談内容についての相談の仕方や接し方、寄り添いなどについて指導を受けた。	多様な相談内容に対応するために、相談員の質の向上を図っていく必要がある。そのために、男女共同参画に関する研修や、学習会に、指導主事をはじめ、心理士(師)、教育相談員等が参加し、必要に応じて広く共有を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	所内で行う毎月のケース会議において、様々な相談ケースの共有、検討を行っている。また、必要に応じて相談ケースの中でDVが疑われるケースや、DVにつながるようなケースなどを各種関係機関と情報共有してきた。また、自主研修などで学んできたDVに関する知識なども職員間で情報共有するなど、職員の意識啓発に努めた。	総合教育センター
38	38-1	DV家庭の子どもへの支援	子どもの養育および発達に関する相談に応じながら、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。		アウトリーチ型相談支援事業として子どもセンターに出向き、子育て相談の日事業を実施した。	コロナ禍による社会情勢の変化に合わせた相談対応として、積極的なアウトリーチを行うことができた。	引き続き、社会情勢の変化に合わせた相談対応を行い、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。子育て相談の日事業を引き続き実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	こどもセンター等に出向く子育て相談の日事業を実施し、子育て中の親の声を聴くこと、相談に応じることができたため。	こども家庭課 (旧:子育て支援課)
38	38-2														子育てサービス課 (旧:子育て支援課)
38	38-3	DV家庭の子どもへの支援	子どもの養育および発達に関する相談に応じながら、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。		DVや児童虐待について相談があった場合は、子育て支援課等の関係機関と連携を図りながら対応し、体制の構築に努めました。	各職員がDVや児童虐待に関する知識を身につけ相談対応する必要があります。	DVや児童虐待が疑われる状況を把握した際、センター内で情報を共有し適切な支援に繋がるよう取組みます。 ・こども家庭課等、関係機関との連携体制の構築に努めます。 ・研修などを通じてDVや児童虐待に関する知識向上に努めます。 ・相談者が安心して相談できる環境や体制づくりに努めます。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談対応の中でDVや児童虐待が疑われる状況が確認できた場合、まずはセンター内で協議し、必要に応じて子育て支援課に情報を伝えることができていたため。	ひまわり発達相談センター
39	39	女性の生き方相談の充実	女性の生き方相談の充実を図るとともに、関連する相談機関との連携を図り、相談者の支援、保護に取り組みます。		年60回の相談を実施。 相談終了後はカウンセラーから報告を受け、情報共有と連携が必要なケースは速やかに連携を図った。 相談件数211件(うち新規40件) 他機関への連携8件 DV相談件数49件	これまでの運用方法の見直しを行い、夜間相談日の拡張(第1金曜日⇒第1・3金曜日)及び実施日(第3木曜日⇒第3水曜日)の変更を行った。	引き続き、相談者が安全・安心に相談のできる環境を整え、より良い相談体制の構築を図る。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	令和2年度のコロナ禍において減少した相談件数は増加傾向にある。悩みを抱える女性の相談の場として、安全・安心な相談環境の場を整えることができた。 ※3月末時点の数字をみて記載。おそらく減少	多様性社会推進課
40	40	男性の生き方に対する相談体制の充実	相談者の訴えをしっかり受け止め、必要に応じて専門相談機関などと連携を図りながら相談支援を実施します。また、男性相談の実施について		・男性からの相談11件(家族関係(暴力含む)10件、個人情報取り扱い11件)	男性からの相談は職員が対応し、千葉県が実施する「男性のための総合相談」を紹介している。 相談件数の推移等を見ながら、男性相談の実施について研究する。	本人の話を伺い、必要に応じて関係機関の紹介を行う。 専門相談員による男性相談の実施について検討する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	相談者の話を伺い、必要に応じて千葉県が実施する「男性のための総合相談」を紹介し、状況に応じた相談窓口を案内している。	多様性社会推進課
41	41	健康相談事業の充実	健康な生活ができるよう、必要な情報提供を行います。また、必要に応じて関係機関と連携し、適切な対応をします。		地区保健活動全体で個々のケースに応じて相談に対応し、こども家庭センターが設置され、連携を図りながら対応するように努めた。	こども家庭センターが設置され、個々のケースに応じてより他課と連携した相談支援の充実が求められている。	これまでの地区保健活動を継続しながら、こども家庭センターと連携した相談を実施していく。	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	新型コロナウイルスの感染拡大が著し着き、コロナ前と同様な地区保健活動に取り組むことができた。	健康支援課
42	42	高齢者への情報提供と相談の充実	市内5カ所の高齢者相談センター(地域包括支援センター)において、虐待や暴力などを受けている人々についての相談に対応し、情報提供を随時行います。		当事者や介護事業者、近隣住民等からの相談に応じ、必要な情報収集を行うとともに、虐待防止に向けた情報提供を随時、行った。	高齢者虐待の認識不足や、家族間の関係性から生じる問題について、介入の困難がある。	相談窓口の周知や、虐待についての啓発に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	当事者や介護事業者、近隣住民等からの相談に応じ、必要な情報収集を行うとともに、虐待防止に向けた情報提供を行った。 また、相談業務に当たる職員が研修を受け、適切な対応を行った。	高齢者支援課
43	43	【新規】障がいのある人への情報提供と相談の充実	関係課と連携を図りながら、障がいのあるDV被害者についての相談に対応し、情報提供を随時行います。		障がい者虐待防止センターとして、配偶者等からの虐待を受けた障がいのある人に対し、相談等支援に応じた。	本人の心身の状況を踏まえた支援を実施していくにあたり、困難課題を持つ方については、長期的な支援を要することがある。	関係課及び関係機関等と連携し、本人の意向を踏まえ、支援に必要な情報提供に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	随時本人の相談にのることが出来る旨を伝えたり、相談にのることによって、問題解決に取り組むことが出来、本人の安心に繋がった。	障がい福祉課

		基本目標	I 人権が尊重される社会づくり	
		課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応	
		施策の方向	②DV被害者が安心して相談できる体制の整備(重点施策)	

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績(具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	評価の理由		
44	44	DVに関する相談窓口の周知	配偶者暴力相談支援センター等のDV相談窓口について、チラシ等の配布や広報紙、ホームページ等の掲載により周知を行います。		DVや暴力に関する相談窓口の案内を広報習志野11月1日号に掲載。女性に対する暴力をなくす運動期間にパネル展示を行い、相談窓口の周知を行ったほか、市庁舎トイレ等にDV相談ナビの情報を貼付した。	DVや暴力に関する情報や、相談窓口の案内について、広く周知する必要がある。 一方で、加害者に窓口情報が知られるリスクもあるため周知方法について配慮する必要がある。	様々な機会や場所をとらえた周知方法を検討する。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	広報紙による啓発の他、DVや暴力に関する相談窓口の周知を目的としたパネル展示を実施し、情報提供を行った。	多様性社会推進課

基本目標	1 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	③DV被害者の生活再建に向けた支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課	
					令和6年度事業実績 (具体的内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
45	45-1	緊急保護を求めるDV被害者への支援	関係機関との連携を取り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行います。		令和6年度DV被害者の緊急一時保護の実績なし。DV相談の対応として、生活相談課、高齢者支援課、子育て支援課、警察署、女性サポートセンター等と連携し対応した。令和4年度から開始した配偶者暴力被害者緊急避難支援(緊急避難時に一時的に必要な交通費・宿泊費・食費の支給)による支給実績なし。DV防止推進担当課長会議にてDV・虐待等被害者への各課の対応について共有を図った。	緊急避難支援の制度について関係各課への周知を図る。	緊急一時保護の申し出があった際は、個々の状況に応じて関係各課や外部機関と連携を取りながら支援を行う。緊急避難支援費用の申し出があった際は状況を確認し、適切な支給を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	緊急一時保護の申し出があった際に、関係各課及び外部機関と連携を図りながら適切に対応している。DV相談の対応として、生活相談課、高齢者支援課、子育て支援課、警察署、女性サポートセンター等と相談・連携し対応した。また、DV防止推進担当課長会議にてDV・虐待等被害者への各課の対応について共有を図った。	多様性社会推進課
45	45-2	緊急保護を求めるDV被害者への支援	関係機関との連携を取り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行います。		関係機関との連携を取り、被害者を迅速にシェルター等につなぐ支援を行った。	児童相談所・女性サポートセンター・警察等の関係機関との連携強化が必要。	各関係機関との連携を図り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談があった際に関係機関と連携をとり、迅速かつ適切な支援ができたため。	こども家庭課(旧:子育て支援課)
46	46	DV被害者支援制度についての情報提供	DV被害者を支援する制度について、被害者の状況に応じた情報提供や証明書の作成など自立に向けた支援を行います。		住民税非課税世帯生活支援給付金の支給にあたり、DV等被害の確認証の発行を行った。(2件)	住民税非課税世帯生活支援給付金の確認証の発行について、国からの迅速に対応し、発行を行った。また、DV被害者等が必要とする証明書等の発行の希望があった場合は、窓口等の情報提供を行う必要がある。	DV被害者等が必要とする証明書等の発行について、窓口等の情報提供を行う。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	住民税非課税世帯生活支援給付金における確認証の発行について国からの迅速に迅速に対応し、発行を行った。また、DV被害者等が必要とする証明書等の発行希望があった場合は、関係機関を案内し、情報提供を行った。	多様性社会推進課
47	47	生活困窮に関する相談支援	生活に困窮するDV被害者に対し、らいふあっぷ習志野において、相談に応じます。生活保護による支援が必要な場合は、生活保護制度につなぎます。		20件(生活保護につないだ件数は5件)。マッチングアプリで知り合った男性と結婚を前提に同棲を始めたが、既婚者であることがわかったりDVがひどく逃げ出してきた。	一時避難場所を探すのが大変であった。多くは友人宅に逃げ込んでいた。	シェルターの是非を検討したい。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	ワーカーズコープらばで行っている緊急住まい支援事業につないで迅速に対応できた。	生活相談課
48	48	高齢者への自立支援	養護者(配偶者や家族など)からの虐待を受けた高齢者の自立に向けて、施設利用も含め支援を行います。		対象者やその家族に対し、生活上の助言等を行い、緊急的に避難を要する事案については、一時的な施設利用を迅速に支援した。	高齢者施設の空き室の確保が困難になっているため、即日の保護が厳しい状況になっている。各施設や関係機関との連携と情報共有が、ますます必要となっている。	引き続き、関係機関との日頃の連携を強化し、迅速な判断を行い、適切な対応をしていく。また、虐待に関する周知について努めていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	対象者やその家族に対し、生活上の助言等を行い、緊急的に避難を要する事案については、一時的な施設利用を迅速に支援した。	高齢者支援課
49	49	障がいのある人への自立支援	養護者(配偶者や家族など)からの虐待を受けた障がいのある人の自立に向けて、施設利用も含め支援を行います。		養護者(配偶者や家族など)からの虐待を受けた障がいのある人の自立に向けて、施設利用に繋げる支援を行った。	施設利用については、本人の意思確認を行う必要や施設との調整があることから、支援が長期化し易い傾向があった。	関係機関と連携を図り、虐待の早期解決に向け、本人の意向を踏まえ、支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	本人の意向を踏まえ、支援を実施出来た。	障がい福祉課
50	50	住宅に関する情報提供	DV被害者が新たな生活の場を見つけるため、市営、県営住宅などの公営住宅の優先入居などに関する情報を提供します。		本課がDV被害者に特化した窓口でないことに加え、提供できる市営住宅の空きがないことから、率先しての情報提供を行うことは出来ていない。被害者及び相談窓口担当課より依頼があった際は、県営住宅への案内や、可能な範囲での情報提供の準備を行った。	特になし(補足)市営住宅の募集において、DV被害者に応募資格がある旨を周知していたが、応募実績はなかった。	情報提供については、継続して行い、今後の市営住宅応募資格について、関係機関等を通じて、募集制度の周知に努め、DV被害者等の救済方法の一つとして取組む。また、らいふあっぷ習志野等外部機関との連携も深めていく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	DV被害世帯からの応募がなかったため。	住宅課

基本目標	1 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	④DVの防止と対応のための関係機関等との連携・協力

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
51	51	庁内関係部署との連携	DV防止推進関係課長会議の開催や庁内関係部署との連携を図り、情報の提供や共有に努めます。		DV業務にかかる関係課長で構成する「DV防止推進関係課長会議」の開催。 第1回 令和6年11月6日 DV・虐待等被害者への各課の対応について共有を図るほか、令和5年度のDV状況の報告を議題とし、その他情報漏洩時の対応について報告を行った。 また、DV等被害者におけるマイナ保険証のオンライン資格確認について、情報共有を図った。	DV・虐待等や情報漏えい時については迅速、適切に対応を行う必要がある。フローチャートについて、定期的に庁内への周知を行い、適切な対応を行う必要がある。また、配偶者暴力避難支援についても関係各課へ周知を図る必要がある。	DV等被害者への適切な対応を図るため、情報共有、庁内周知に努める。	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	・DV・虐待等の対応について、フローチャートを共有し、関係課との連携強化を図った。また、「DV防止推進関係課長会議」を通して、庁内へ周知した。 ・DV等被害者におけるマイナ保険証のオンライン資格確認について、情報共有を図った。	多様性社会推進課
52	52-1	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。		・千葉県主催「女性支援・児童虐待相談新任職員研修(Ⅰ部、Ⅱ部、Ⅲ部)」へ参加。 ・令和7年1月 令和6年度 ちば男女共同参画行政担当者連絡会議に参加。 ・令和7年3月 令和6年度第2回千葉県男女共同参画推進本部幹事会及び市町村男女共同参画担当者研修会へ参加。	引き続き連絡会議に参加し情報共有を図るとともに、関係機関との連携について検討する必要がある。	関係機関との連携について検討する。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	県が主催する連絡会議等へ出席し、他自治体及び他機関の業務や支援方法について積極的に情報収集を行い、必要に応じてその内容を連携する庁内関係部署の情報提供を行った。	多様性社会推進課
52	52-2	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。		県主催の連絡会議に出席したほか、ならしの子どもを守る地域ネットワークにおいて情報交換に努め、児童相談所、警察、民生委員などと積極的に連携を図った。	関係機関(児童相談所、警察、民生委員・児童委員など)との情報交換の際は最新の情報を取得することが必要。	引き続き、県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各連絡会に出席し、情報収集に努めた。ならしの子どもを守る地域ネットワークの会議では情報を共有したため。	こども家庭課(旧:子育て支援課)
52	52-3	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。		男女共同参画センターから配布された県のDV相談カード及び県のDV啓発チラシを、各地区の民生委員児童委員に配布し周知した。	男女共同参画センターから配布された県のDV相談カード及び県のDV啓発チラシを、各地区の民生委員児童委員に配布し周知した。 地域住民と行政のパイプ役として活躍している民生委員児童委員に有益な情報を提供するよう努め、常に連携強化を図ることができた。	引き続き、連携を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女共同参画センターから配布された県のDV相談カード・チラシを各地区の民生委員児童委員に配布し、周知することで、相談活動に資することができた。	健康福祉政策課

基本目標	Ⅱ誰もがあらゆる分野に参画し活動できる環境づくり
課題	Ⅰ 政策・方針決定における女性の参画の推進
施策の方向	①市政における女性の参画の推進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
53	53-1	【女性活躍】 審議会などへの女性委員の登用の推進	各種審議会等委員への女性の積極的な登用を推進します。		・「富志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」に基づき、令和6年12月に総務部次長、協働経済部次長の連名で、庁内各部署が所管する審議会等において女性委員の積極的な登用依頼を通知。 ・女性委員のいないまたは1割未満の担当課には女性登用の進まない理由及び今後の見通しについて調査を実施した。 (令和6年4月1日現在) ・女性委員のいないまたは1割未満の審議会等 9件 ・女性委員登用率 31.6%	庁内各部署に、審議会等の女性委員登用に関する依頼を通知しているが、目標値40%に達していない。 今回の調査結果から、委員の選定方法などにより女性登用が難しい状況である審議会もあり、引き続き女性委員の登用を要請する必要がある。	引き続き女性登用がされない審議会等を所管する担当課に、その理由や今後の方向性等について、実態を確認する。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	庁内各部署に、審議会等の女性委員登用に関する依頼を通知しているが、目標値40%に達していない。委員の選定方法などにより女性登用が難しい状況である審議会もあり、引き続き協力を要請する必要がある。	多様性社会推進課
53	53-2	【女性活躍】 審議会などへの女性委員の登用の推進	各種審議会等委員への女性の積極的な登用を推進します。		審議会等における委員の委嘱の際に、担当課からの事前協議の段階で、男女共同参画の視点から委員構成を検討するよう指導した。	各審議会等の担当者に男女共同参画の視点からの委員構成を検討することが、まだ十分に意識付けされていない。	引き続き、事前協議の際などに、男女共同参画の視点からの委員構成を検討するよう呼びかけ続けるとともに、指針等の周知を推進する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	公募委員選考委員会に使用する様式において、女性委員の登用の意識を高めるため、様式に女性委員の登用率を記載した	総務課
54	54	男女共同参画の視点を持った人材の情報提供	男女共同参画の視点を持った人材の情報を収集し、提供します。		・令和6年度における情報提供依頼なし。	・平成22年3月より取り組んでいる人材リストの整備については、これまで17件の情報提供を行ったが、活用に至っていない現状である。 ・3年に一度リストの更新を行っているが、令和5年度に行った更新作業では、21名から7名に減少していることから、人材リストの在り方について、検討を行う必要がある。	人材リストの整備の在り方について再度検討する。	B:あまり貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	リストの活用がないため、人材リスト整備の在り方について再度検討が必要である。	多様性社会推進課	
55	55	開かれた議会への取り組み	市民により一層身近に親しみやすい市議会を目指し、ホームページや市議会報の改善に取り組むとともに市議会報をより多くの人に読んでもらえるよう努めます。	【管理指標項目】 市議会報の発行回数 【目標値】 年4回 【6年度実績】 4回	前年度に引き続き、ホームページの改善を心掛け、傍聴に係る情報等、市民が求める情報の掲載に努めた。中でも市議会報のポスティングサービスについては、ホームページだけでなく、広報富志野において知らせ記事を掲載して周知を図った。 また、議会報編集委員が中心となり、市民にとってもよりわかりやすい市議会報を目指し作成を行うとともに、市議会報の駅前配布、新聞折り込み及び駅への設置等、より多くの人に読んでもらうための取り組みを行った。	特になし	ホームページや市議会報の掲載内容・レイアウト等を定期的に見直し、市民が必要とする情報を速やかに発信できるよう努める。 また、より多くの市民に市議会報のポスティングサービスを利用していただけるよう、引き続き、ホームページや広報富志野を利用して周知を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	市議会報の発行日に市議会議員が駅前配布を行い、市議会を身近に感じる機会を設けることができたこと、また、広報富志野及びホームページを利用してポスティングサービスの周知を図ることができたことによるもの。	議会事務局	
56	56	【女性活躍】 市役所女性職員の活躍推進	女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画に基づき、女性が働く職域の拡大を図ります。また、指導的立場につく女性に対して、各種研修の参加を促進するなど育成・支援を行います。		女性職員のキャリアデザイン研修を実施。 (令和6年11月12日 受講者数:26名)	主体的にキャリアを形成することで、仕事に対する意欲を高めていく必要がある。	令和7年度においても、女性職員を対象としたキャリア研修を予定している。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	女性管理職をロールモデルに意見交換を実施し、将来のキャリアについて考える研修の場を提供できたため。	人事課	

基本目標	Ⅱ誰もがあらゆる分野に参画できる環境づくり
課題	Ⅰ 政策・方針決定における女性の参画の推進
施策の方向	②事務所等における多様性(ダイバーシティ)の促進(重点施策)

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標 実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
57	57-1	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・ 認証制度の周知	市内事業所や市民など に対し、千葉県男女共 同参画推進事業所表彰 制度や女性活躍推進法 に基づく認定制度「える ぼし」等の周知を行いま す。また、商工会議所な どの関係機関と連携し、 認定に向けた支援を行 います。		・令和6年9月・令和7年2月「性の多様性講座」(14人)にて配布 ・令和6年6月「男女共同参画週間事業」(203人)にて配布 ・令和6年1月「パラレルキャリア講座」(15人)にて配布 ・令和6年10月「女性のための再チャレンジ支援講座」(13人)にて配布 ・令和7年3月「男女共同参画啓発講座」(10人)にて配布	・引き続き、制度周知に向けた取り組みを検討していく必要がある。	パンフレットを市民向けの講座等で配布し、市民への周知に活用する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	認定・表彰を受けている市内の事業所一覧を掲載した認定・表彰制度のパンフレットを、各種講座で配布を行った。	多様性社会推進課	
57	57-2	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・ 認証制度の周知	市内事業所や市民など に対し、千葉県男女共 同参画推進事業所表彰 制度や女性活躍推進法 に基づく認定制度「える ぼし」等の周知を行いま す。また、商工会議所な どの関係機関と連携し、 認定に向けた支援を行 います。		令和6年6月に実施した「習志野市制施行70周年記念令和6年度男女共同参画週間事業講演会・労働講演会」において、習志野商工会議所や労働団体の広報協力により、多くの参加人数を集客し、多様性社会推進課にて作成している表彰・認定・登録制度に関するリーフレットを配架し、普及啓発に努めた。 また、同様のリーフレットを窓口にも配架し、周知に努めた。	特になし	引き続き労働講演会等において、多様性社会推進課にて作成している表彰・認定・登録制度に関するリーフレットを配架する。 併せて窓口への配架を継続する。	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	例年と比較して、商工会議所、多様性社会推進課と協力して、多くの市民や市内事業者に対して周知が行えたため。	産業振興課	
57	57-3	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・ 認証制度の周知	市内事業所や市民など に対し、仕事と介護の両 立支援「トモニ」等の 周知を行います。また、 商工会議所などの関係 機関と連携し、認定に向 けた支援を行います。		高齢者の就業を支援する機関(シルバー人材センター)に市で作成した認定・表彰制度のチラシを配架。また、同センターの女性会員増のため、通常の入会説明会に加え、女性限定の説明会開催の周知を市広報紙で実施。	シルバー人材センターは女性会員が少なく、高齢化による健康面の理由で会員数自体が減少している。全体的に会員数の増加が課題である。	シルバー人材センターでは女性会員増加を目指し、音楽会などのイベントを通してセンターをPRしており、入会説明会と併せてイベント案内も市広報紙にて周知する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	シルバー人材センターに市で作成した認定・表彰制度のチラシを配架しているほか、同センターの女性会員増のため、通常の入会説明会に加え、女性限定の説明会開催の周知を市広報紙で実施した。	高齢者支援課	
57	57-4	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・ 認証制度の周知	市内事業所や市民など に対し、仕事と介護の両 立支援「トモニ」等の 周知を行います。また、 商工会議所などの関係 機関と連携し、認定に向 けた支援を行います。		市内障害福祉サービス事業所への情報提供や窓口にてパンフレットを配架し、周知を図った。	周知する機会が乏しい。	継続して市内障害福祉サービス事業所及び市民などに対して周知図っていく。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	市内障害福祉サービス事業所及び市民へ周知できた。	障がい福祉課	
57	57-5	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・ 認証制度の周知	市内事業所や市民など に対し、仕事と介護の両 立支援「トモニ」等の 周知を行います。また、 商工会議所などの関係 機関と連携し、認定に向 けた支援を行います。		令和6年6月に実施した「習志野市制施行70周年記念令和6年度男女共同参画週間事業講演会・労働講演会」において、習志野商工会議所や労働団体の広報協力により、多くの参加人数を集客し、多様性社会推進課にて作成している表彰・認定・登録制度に関するリーフレットを配架し、普及啓発に努めた。 また、同様のリーフレットを窓口にも配架し、周知に努めた。	特になし	引き続き労働講演会等において、多様性社会推進課にて作成している表彰・認定・登録制度に関するリーフレットを配架する。 併せて窓口への配架を継続する。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	例年と比較して、商工会議所、多様性社会推進課と協力して、多くの市民や市内事業者に対して周知が行えたため。	産業振興課	
57	57-6	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・ 認証制度の周知	市内事業所や市民など に対し、次世代育成支 援対策推進法に基づく 認定制度「くるみん、プ ラチナくるみん」や、習 志野市子育て支援先端 企業認証制度の周知を行 います。また、商工会議 所などの関係機関と連 携し、認定に向けた支 援を行います。		習志野市子育て支援先端企業認証制度について、ホームページコンテンツへ掲載するとともに、男女共同参画センターが発行している制度周知を図る冊子を窓口に設置し、新規事業者登録の周知を図ったものの、新規登録申請はなかった。	千葉県の「社員いきいき元気な会社宣言」など類似の事業もある中、事業者にとって認証に係るメリットが少なく、近年新たな新規登録申請はない状態が継続している。	育休制度等の充実が進み、登録制度の意義は当初より大きく減少しているものと考えられる。 そのため、次期計画では事業掲載を見送ることも含めて検討したい。	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	新規登録事業者がなかったため。	こども政策課	

基本目標		Ⅱ誰もがあらゆる分野に参画できる環境づくり														
課題		1 政策・方針決定における女性の参画の推進														
施策の方向		②事務所等における多様性(ダイバーシティ)の促進《重点施策》														
No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
57	57-7	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・ 認証制度の周知	市内事業所や市民など に対し、次世代育成支 援対策推進法に基づく 認定制度「くるみん、プラ チなくるみん」や、富志 野市子育て支援先端企 業認証制度の周知を行 います。また、商工会議 所などの関係機関と連 携し、認定に向けた支援 を行います。		令和6年6月に実施した「富志野市制施行70周年 記念令和6年度男女共同参画週間事業講演会・労働 講演会」において、富志野商工会議所や労働団 体の広報協力により、多くの参加人数を集客し、多 様性社会推進課にて作成している表彰・認定・登録 制度に関するリーフレットを配架し、普及啓発に努 めた。 また、同様のリーフレットを窓口にも配架し、周知 に努めた。	特になし	引き続き労働講演会等において、多様 性社会推進課にて作成している表彰・認 定・登録制度に関するリーフレットを配架 する。 併せて窓口への配架を引き続き継続す る。	B:あまり貢献 できなかった	B:あまり貢献 できなかった	B:あまり貢献 できなかった	B:あまり貢献 できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	例年と比較して、商工会議所、多 様性社会推進課と協力して、多くの 市民や市内事業者に対して周知が 行えたため。	産業振興課	
58	58	【女性活躍】 ワーク・ライフ・ バランスに取り組む 事業所に対する入札制 度における優遇(インセ ンティブ)の付与	女性の活躍やワーク・ラ イフ・バランス等の実現 に向けて、積極的に取り 組む事業所の受注機会 を増大する公共調達の しきみを導入します。		令和6年度は総合評価落札方式での入札はなかつ た。	令和6年度は総合評価落札方式での入 札はなかった。	地方自治法では契約の締結において は価格競争が原則となっており、例外として 総合評価落札方式を適用できるため、優 遇の付与が出来る事業が限られる。 対象となる入札において男女共同参画 等に関する項目を設定するよう更なる周 知を図る。 【次期計画に向けた問題点・改善点】 継続的に事業を実施する。	D:事業を実施 できなかった	D:事業を実施 できなかった	D:事業を実施 できなかった	D:事業を実施 できなかった	D:事業を実施 できなかった	D:事業を実施 できなかった	総合評価落札方式での入札がな かったため	契約検査課	
59	59	【女性活躍】 認定(表彰)を受けた優 れた事業所の取り組み に対する情報発信	認定(表彰)された事業 所やその取り組みを、好 事例として市民、事業 所、学生などに向けて幅 広く情報発信します。ま た、このような取り組み を進める事業所を増や します。		・令和6年8月・令和7年2月「性の多様性講座」(14 人)にて配布 ・令和6年6月「男女共同参画週間事業」(203人)に て配布 ・令和6年1月「パラレルキャリア講座」(15人)にて配 布 ・令和6年10月「女性のための再チャレンジ支援講 座」(13人)にて配布 ・令和7年3月「男女共同参画啓発講座」(10人)にて 配布 ・職業によるジェンダーギャップをテーマに女性消防 士への取材を情報紙「きらきら」第59号に掲載。商 工会議所を経由し、会議所会員に配布した。 (20,000部)	・引き続き、制度周知に向けた取り組み を検討していく必要がある。 ・認定企業を市ホームページの他、情報 紙等に掲載する等PRに努め、制度利用 にメリットを持たせるよう工夫する必要が ある。	パンフレットを市民向けの講座等で配布 し、市民への周知に活用する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献 できた	認定・表彰を受けている市内の事業 所一覧に掲載した認定・表彰制度の パンフレットを、各種講座で配布を 行った。	多様性社会推進課	

基本目標	Ⅱ 誰もがあらゆる分野に参画し活動できる環境づくり
課題	2 まちづくりにおける男女共同参画の促進
施策の方向	①地域活動における男女共同参画の促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
60	60	町会・自治会などの活動への男女の共同参画意識の啓発および意思決定への女性の参画促進	連合町会連絡協議会との連携のもと、町会・自治会などの活動の啓発と男女共同参画意識の向上に努めます。		連合町会連絡協議会及び連合町会への財政的支援として、補助金を交付した。 自治功労者顕彰式において、各町会より男女問わず推薦があり、18名の方々が受賞し、表彰を賜った。 また、連協事務局として、連合町会連絡協議会主催視察研修等への参加を働きかけた。 行政問題学習会は、市内各地域から114名の参加があり、自転車交通にまつわる学習会を行った。	地域におけるデジタル媒体の活用を引き続き進めていく。今後も地域活動の簡易化・効率化につながる部分は後押しできるよう、ニーズに基づき地域に根付くデジタル化を検討し、推進していく。	町会・自治会等に通知する参加型の行事の出欠確認や調査の回答方法に、電子回答を追加する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	調査依頼や届出の回答方法について、電子回答を徐々に導入できた。このことによる好意的な意見が寄せられ、地域の浸透率もよいと感じている。	協働政策課
61	61	市民活動団体の支援 ならびに市民活動およびボランティア活動の 情報提供	市民活動団体を支援するとともに、「習志野市ボランティア・市民活動センター」と連携を図りながら、市民活動およびボランティア活動の情報提供に努め、性別にかかわらず、市民活動に参画できるように促します。		市民等から団体の紹介を求められた際に、性別にかかわらず市民協働インフォメーションルーム登録団体の紹介（地域情報ポータルサイト）やボランティア・市民活動センターを紹介するなど対応を行った。 市民活動団体と市民活動に興味・関心のある人が参加するイベント・講座等において、地域情報ポータルサイトの周知および市民活動の情報提供を行った。	会員の高齢化に伴い、新規会員の募集や新たな公益的な事業に取り組む団体が少なくなっている。	引き続き、市民等からの問い合わせに対して年齢や性別にかかわらず適切に対応する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	広報習志野への掲載、イベント・講座の開催時に地域情報ポータルサイトを周知することにより、市民活動に関する情報提供を効果的に行うことができた。	協働政策課
62	62	ボランティア活動の普及・啓発	公民館利用サークルが、男女ともに日々の活動成果を地域・社会に還元できるように支援します。また、学習会会議の活動において男女ともにボランティア活動に参加できるような場を提供します。		・各公民館において、市民文化祭を開催し公民館利用サークルの活動成果を発表場を設けた。 ・公民館で開催するコンサートへの出演、公民館講座の講師など、活動の成果を地位に還元した。 ・各公民館地区学習会会議において、地域住民や中学生など多くのボランティアが参加し、コンサートや地域行事を実施した。	各館のサークルの高齢化による会員数の減少。 各公民館地区学習会会議メンバーの高齢化による後継者不足。	引き続き、文化祭等の事業を継続するとともに、各サークルや地区学習会会議の活動をPRし、会員増を目指す。	A:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・各公民館で文化祭を開催し、活動成果発表の場とし、多くの来場者があった。 ・各公民館地区学習会会議においては、コンサートや地域行事を開催し多くの市民の参加があった。	公民館

		基本目標	Ⅱ誰もがあらゆる分野に参画活動できる環境												
		課題	2 まちづくりにおけるい男女共同参画の促進												
		施策の方向	②防災における男女共同参画の促進《重点施策》												

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標 実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
63	63	男女共同参画の視点を盛り込んだ防災体制の整備	女性および性の多様性に配慮した地域防災計画とするための点検や見直し、ならびに防災用品の整備と避難所運営に取り組みます。		1. 防災会議の委員に女性4名が参加し、女性の視点を取り入れる体制を整備した。 2. 各避難所配備職員4名の内、女性1人を配置し女性避難者からの意見や避難所でのコミュニケーション確保を整備した。	引き続き、各避難所に女性職員1名以上を配備し、女性の視点から避難所運営ができる体制づくりを行う。男女共同参画の観点から、防災会議の女性委員の割合を増やし、性別と性の多様性を考慮した地域防災計画の修正を行うことが課題である。	引き続き避難所配備職員に女性を1名以上指定する。防災会議の女性委員の割合を増やすために可能な範囲で各関係機関等に女性の参加を促す。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	防災会議の委員及び避難所配備職員に対する女性の参加体制を引き続き整備した。	危機管理課	
64	64	【新規】 防災対策における男女共同参画の意識啓発	市民や市職員に対して、防災対策における男女共同参画や性の多様性についての意識啓発を図ります。		市民や職員への意識づけについて、自主防災組織リーダー研修会や、総合防災訓練を実施し、意識啓発を行った。	引き続き、訓練等を通じて、防災の取り組みにおける男女共同参画や性の多様性の重要性について、啓発していく必要がある。	訓練や研修会等の機会を活用し女性視点や性の多様性に関して、避難所運営の課題点を踏まえ意識啓発を行います。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	昨年度に引き続き総合防災訓練にて、(一社)千葉県助産師会と連携し、「母子避難訓練」を実施した。	危機管理課	

		基本目標	Ⅲ 多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり												
		課題	1 働く場における男女共同参画の促進												
		施策の方向	①雇用の分野における男女の機会均等、待遇改善の促進												

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
65	65-1	雇用分野における法律などに関する情報の提供	関係機関と連携して、「労働基準法」や「男女雇用機会均等法」、「労働者派遣法」等の雇用分野の法律や制度の周知に努めます。		関係機関より依頼を受け、最低賃金が改正されたことの周知をや中小企業退職金共済掛金補助金等の制度内容について周知啓発をホームページ、広報紙にて行った。	特になし。	引き続き関係機関から依頼を受けた労政関係の制度周知に努めるとともに、労働講演会等において、多様性社会推進課にて作成している女性活躍推進法に基づく認定制度に関するリーフレットを配架する。 併せて窓口への配架を継続する。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	例年と比較して、商工会議所、多様性社会推進課と協力して、多くの市民や市内事業者に対して周知が行えたため。	産業振興課	
65	65-2	雇用分野における法律などに関する情報の提供	関係機関と連携して、「労働基準法」や「男女雇用機会均等法」、「労働者派遣法」等の雇用分野の法律や制度の周知に努めます。		産業振興課と共同開催した男女共同参画週間事業・労働講演会では、商工会議所の協力のもと、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる市内事業所を紹介してもらい、その社員が講演会にて事業所の取り組みや子育てとの両立等について発表した。	引き続き、関係機関と連携して、雇用分野における法律などに関する情報提供を行う必要がある。	関係機関と連携して、雇用分野における法律などに関する情報提供を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	今年度は産業振興課と共同開催し、商工会議所の協力のもと、男女共同参画週間事業・労働講演会の中で、市内事業所の取り組みや子育てとの両立について、発表した。	多様性社会推進課	

基本目標	Ⅲ 多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1 働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	②農業従事者、自営業等における男女共同参画の促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
66	66	農業従事者における家族経営協定締結の推進	家族で農業経営に携わる各世帯員が、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて家族間で取り決める「家族経営協定」の締結を推進します。	【管理指標項目】 農業従事者における家族経営協定締結数 【目標値】 現計画中に14戸 【6年度実績】 新規1戸・減1戸 (合計13戸)	令和6年度中に新たに家族経営協定を締結した農業従事者は1戸あったが、夫婦協定締結者の夫(経営者)の死亡により1戸減となったため、家族経営協定締結数は変わらず合計13戸に留まった。	引き続き制度周知が必要	引き続き農業者の会議等において制度周知を行う。	C:貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	C:貢献できなかった	A:貢献できた	家族経営協定締結数は変わらず合計13戸に留まったが、新たに家族経営協定を締結した農業従事者が1戸あり、締結の推進としての実績があったため。	産業振興課
67	67	【女性活躍】 農業従事者などにおける男女の経営参画の啓発	家族経営を基本としている農業従事者などにおいて、男女が対等に経営に参画しやすい環境づくりを進めます。	【管理指標項目】 農業従事者などに対する男女の経営参画についての研修、啓発の回数 【目標値】 年1回以上 【6年度実績】 1回	市内農業者の会議の場において、家族経営協定に関するパンフレットの配布を行うとともに、説明、周知した。	引き続き周知が必要	引き続き女性の経営参画の周知を行っていく。	C:貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	市内農業者の会議の場において、家族経営協定に関するパンフレットの配布を行うとともに、説明、周知した。	産業振興課

基本目標		Ⅲ 多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり													
課題		1 働く場における男女共同参画の促進													
施策の方向		③女性の起業、再チャレンジ支援													
No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
68	68	【女性活躍】 職業能力・技術を習得する学習情報の提供	就労セミナーの開催、就労相談・就労情報の提供を行います。	【管理指標項目】 就労を支援するセミナー等の女性参加者数 【目標値】 10人以上 【6年度実績】 56人 内訳 浦安市26人 船橋市30人	本市と千葉県ジョブサポートセンター及び近隣5市(市川市、船橋市、八千代市、鎌ヶ谷市、浦安市)と共催で女性向け再就職支援セミナーを実施し、女性を取り巻く社会環境や履歴書の書き方等の再就職に役立つスキルの提供を行った。 なお、本市主催のセミナーについては多くの女性から予約を頂いていたものの、台風7号の影響により中止とした。(予約数38人) 主催幹事市: 習志野市、浦安市、船橋市	特になし。	次年度においても、引き続き女性向けのセミナーを実施する。 引き続き多様性社会推進課と共同でセミナー実施の周知活動に取り組む。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	共催6市で広報、ホームページ等にて積極的に周知した結果、目標を大きく上回る女性が参加したため。	産業振興課
69	69	【女性活躍】 創業に関する情報提供	市内で、創業・開業しようとする市民に対する資金融資などに関する情報の提供を行います。		産業振興課窓口及びホームページにて習志野市中小企業資金融資制度の案内を行うとともに、習志野市商工会議所に創業に関するワンストップ相談窓口を設置し、創業に関する相談を随時受け付けた。 創業をサポートするため、「ならしの創業塾」の開催や千葉県信用保証協会共催により「創業スクール」を実施した。 その他、千葉県等が主催する創業イベントやセミナー開催時に、多様性社会推進課にもチラシの配架を依頼した。	特になし。	引き続き、創業しようと考えている市民に対して、資金融資等に関する情報の提供を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	習志野市商工会議所と連携を図り、ならしの創業塾についての運営を行うことで多くの女性に対して創業に関する知識の普及と啓発を行えたため。 また、創業に関するイベントの実施時には産業振興課窓口だけでなく、多様性社会推進課と協力し、情報提供を行えたため。	産業振興課
70	70	【女性活躍】 創業を支援する講演会などの開催	商工会議所などと連携し、創業に関する相談窓口の設置や講演会、創業塾などを開催し、市内での創業を支援します。	【管理指標項目】 創業を支援するセミナー等の女性参加者数 【目標値】 5人以上 【6年度実績】 45人 ①ならしの創業塾 14人 ②創業スクール 29人 ③創業機運醸成事業 2人	産業振興課窓口及びホームページにて習志野市中小企業資金融資制度の案内をお求めとともに、習志野市商工会議所に創業に関するワンストップ相談窓口を設置し、創業に関する相談を随時受け付けた。 創業をサポートするため、「ならしの創業塾」の開催や千葉県信用保証協会共催により「創業スクール」を実施した。 その他、創業に無関心な学生等を対象として創業を将来的な選択肢の一つに加えてもらえるように創業機運醸成事業を実施した。 ・市主催 ならしの創業塾 講義等6回(年1回) ・千葉県信用保証協会共催 創業スクール 講義等4回(年2回)	特になし。	ならしの創業塾や創業スクールについては現状でも多くの女性が参加しているため、引き続き継続する。 創業機運醸成事業については、より一層の集客を図るため、習志野市商工会議所と協力し、既存の事業内容を見直し実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	習志野市商工会議所や千葉県信用保証協会と連携を図り多くの女性に対して創業に関する知識の普及と啓発を行えたため。	産業振興課
71	71	【新規】【女性活躍】 就労や再就職に関する情報提供	ふるさとハローワーク等と連携し、就労や再就職に関する情報の提供を行います。		国と共同で設置している「ふるさとハローワークならしの」及び国と船橋市が共同で事業を実施している「ふなばし地域若者サポートステーション事業」に参画し、若年無業者の職業的自立を促すことを目的として、就労や再就職に関する情報提供を行った。 本市と近隣市、千葉県ジョブサポートセンターが実施している再就職支援セミナーについて、多様性社会推進課、ふるさとハローワークならしの、ハローワーク船橋に依頼し、チラシを配架した。 ふなばし地域若者サポートステーションが実施している「若年者向けの企業説明会である「合同就職フェアJ」について市内公共施設やふるさとハローワークにならしのチラシを配架した。	特になし。	引き続き、ふるさとハローワークならしのや、ふなばし地域若者サポートステーション等と連携し、若年無業者や再就職を求めている方に対し就労支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	ふるさとハローワークならしのやふなばし地域若者サポートステーション等の関係機関と連携し着実に事業を実施することで女性に対して就労に関する情報提供を行うことで就労支援が行えているため。	産業振興課
72	72	【女性活躍】 再チャレンジ支援講座の実施	就労を支援する講座などを実施します。	【管理指標項目】 女性のための再チャレンジ支援講座の開催回数 【目標値】 年1回 【6年度実績】 1回	・令和6年10月「女性のためのExcel基礎講座」を開催し、令和4年4月に決定した女性デジタル人材育成プランに基づき、仕事に生かすためのExcelの基礎について学習を行った。開催にあたり、定員を上回る募集があった。	昨年度「女性のためのExcel基礎講座」を開催し、定員を大きく上回る募集があったことから、今年度も同講座を開催した。今後、受講者のニーズを把握し、就労支援に向けた講座を開催していく必要がある。	引き続き、デジタル人材育成と就労支援を目的とした講座を開催していく。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	女性が活躍できる社会をめざし、就労を支援する講座を実施。令和6年4月に決定した女性デジタル人材育成プランに基づく講座とし、多様な働き方への支援につながった。	多様性社会推進課

基本目標	Ⅱ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	①働く場におけるワーク・ライフ・バランスの促進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
73	73-1	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランス の意識啓発	関係部署と連携し、働き方を見直し、積極的にワーク・ライフ・バランスに取り組む市民を増やします。(市民)	【管理指標項目】 市民に対するワーク・ライフ・バランスに関する啓発などの回数 【目標値】 年1回 【6年度実績】 1回	市制施行70周年記念の冠事業として「ワーク・ライフ・バランスの推進」をテーマとした講演会を産業振興課と共同開催し、また、商工会議所の協力を得て、講演会を実施することで、広く周知を図った。また、本講座開催に係る、市と男女共同参画推進団体を構成員とする運営委員会を3回開催した。	様々な手法で継続的に意識啓発を行っていく必要がある。	男女共同参画週間事業講演会にてワーク・ライフ・バランスにつながる課題をテーマとした講演会を開催するよう調整していく。	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	市制施行70周年記念の冠事業として「ワーク・ライフ・バランスの推進」をテーマとした講演会を産業振興課と共催し、また、商工会議所の協力を得て、講演会を実施することで、広く周知を図ることができた。	多様性社会推進課
73	73-2	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランス の意識啓発	働き方を見直し、積極的にワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所が増えるよう、関係部署と連携し、必要な働きかけを行っています。(事業所)	【管理指標項目】 市内事業所に対するワーク・ライフ・バランスに関する啓発などの回数 【目標値】 年1回 【6年度実績】 講演会 1回 広報紙 4回	事業所に対し、ワークライフバランスに取り組む事業者が増えるよう、年次有給休暇制度の計画的な取得促進を促すため、広報習志野及び市ホームページにて周知を行った。 また、令和6年6月に実施した「習志野市制施行70周年記念令和6年度男女共同参画週間事業講演会・労働講演会」において、習志野商工会議所と協力し、ワーク・ライフ・バランスをテーマに講演会を行うことで、多くの労働者や事業所に対して普及啓発を行うことができた。 ①令和6年5月1日号掲載 事業主の皆さんへ「年次有給休暇の「計画的付与制度」を導入しましょう」 ②令和6年7月15日号掲載 時間外労働の上限規制の適用 ③令和6年8月15日号掲載 事業主の皆さんへ「年次有給休暇を取得しやすい環境づくりに取り組みましょう」 ④令和6年10月1日号掲載 10月は「年次有給休暇取得促進期間」です。	特になし。	引き続き関係機関から受けた依頼について着実に実施することで、多くの事業所に対して周知啓発を行っていく。	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	広報習志野、ホームページへの掲載により周知が行えたことに加え、令和6年度は多様性社会推進課と協力を行い、多くの労働者、事業所に対してワーク・ライフ・バランスの普及・啓発が行えたため。	産業振興課
73	73-3	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランス の意識啓発	職員の時間外勤務の削減や、男性の育児休暇などの取得促進を図るとともに、働き方の見直しに取り組めます。また、市職員へのワーク・ライフ・バランスの意識啓発に取り組みます。(市職員)	【管理指標項目】 市職員に対するワーク・ライフ・バランス研修の実施回数 【目標値】 年1回 【6年度実績】 2回	・時間外勤務の縮減などを含めたワークライフバランスを実現するため、働き方改革の一環として、時差出勤の導入及びテレワークの実証実験を実施した。 ・2～3級職員を対象としたキャリアデザイン研修等においてワークライフバランスに関する講義を実施した。(令和6年9月20日実施)		令和7年4月にテレワークの本格導入を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・時差出勤及びテレワークの実施により勤務時間、勤務場所を選択する多様な働き方が可能となった。	人事課
74	74	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランス に関する講座の実施	本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催し、参加者同士の交流を図りながら、パラレルキャリアを有するいきいきと働く人を増やします。		令和7年1月にパラレルキャリア講座「手作り名刺で実現する わたしのキャリアデザイン」を開催。自分自身のパラレルキャリアの探索方法について学習した。	多様な生き方・働き方に向け、本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催する必要がある。	引き続き、本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催する。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	・多様な生き方・働き方に向け、本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催した。 ・20代から70代という様々な年齢の方に参加いただき、世代間での交流を通して新たな自分を見出すことのできる講座とすることができた。	多様性社会推進課
75	75	【女性活躍】 仕事と子育ての両立 に関する制度の周知	市内事業所における仕事と子育てで両立できる職場環境づくりに関する啓発を行います。		【再掲】習志野市子育て支援先端企業認証制度について、ホームページコンテンツへ掲載するとともに、男女共同参画センターが発行している制度周知を図る冊子を窓口を設置し、新規事業者登録の周知を図ったものの、新規登録申請はなかった。	【再掲】千葉県の「社員いきいき元気な会社宣言」など類似の事業もある中、事業主にとって認証に係るメリットが少なく、近年新たな新規登録申請はない状態が継続している。	【再掲】育休制度等の充実が進み、登録制度の意義は当初より大きく減少しているものと考えられる。そのため、次期計画では事業掲載を見送ることも含めて検討したい。	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	新規登録事業者がなかったため。	こども政策課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの促進
施策の方向	②固定的な性別役割分担意識の見直しの促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
76	76-1	【女性活躍】 固定的な性別役割分 担意識を見直す講座な どの実施	家庭内の男女共同参画を 推進するため、固定的な性 別役割分担意識を見直す 講座などを実施します。	【管理指標項目】 固定的な性別役割分 担意識を見直す講座な どの実施回数 【目標値】 年1回以上 【6年度実績】 2回	男女共同参画啓発講座にて、固定的な性別役割分 担意識を見直すきっかけづくりとして、家族で行う家 事・育児と時短家事についての講座を実施した。 また、情報紙「きらきら」第58号にて、「家庭内にお ける男女共同参画」をテーマにコラムを掲載した。	性別、年齢に関係なく参加しやすい環境 整備について手法を検討する。	手法を検討しつつ、シニア世代の家事参 画や父親の育児参画など、性別役割分 担意識の見直しにつながる啓発の取り組 みを行う。	B:あまり貢 献 できな かつた	S:大いに貢 献 でき た	S:大いに貢 献 でき た	S:大いに貢 献 でき た	S:大いに貢 献 でき た	S:大いに貢 献 でき た	固定的な性別役割分担意識を見直 すきっかけづくりとして、家族で行う 家事・育児について取り上げ、固定 的な性別役割分担意識を見直す講 座を実施した。	多様性社会推進課
76	76-2	【女性活躍】 固定的な性別役割分 担意識を見直す講座な どの実施	家庭内の男女共同参画を 推進するため、固定的な性 別役割分担意識を見直す 講座などを実施します。	【管理指標項目】 固定的な性別役割分 担意識を見直す講座な どの実施回数 【目標値】 各公民館で年1回以上 【6年度実績】 全公民館延べ164回実 施　うち男性参加31回	全公民館で育児講座、幼児家庭教育学校など家庭 教育領域の講座を実施した。 また、親子講座などの実施の際には、開催日を土 日にするなど、父母のどちらでも参加できるよう配 慮した。	育児講座や幼児家庭教育学校の実施に あたり、夫婦での参加を呼び掛けるも父 親の参加は多くはない。	家庭教育の領域の講座において、父親 への参加を呼びかけ、性別による役割分 担意識見直しのきっかけづくりとする。	D:事業を実 施 できな かつた	B:あまり貢 献 できな かつた	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	公民館側の工夫や呼びかけによ り、一定数の父親（男性）参加が あった。	公民館
77	77	「ママ・パパになるた めの学級」の充実	安心して妊娠・出産・子育て に臨めるように、知識や技 術を提供するとともに、両 親が共に子育てを担ってい けるように支援します。		妊娠期に2回（集合型）で実施。 参加数（延） 妊婦　401人 パートナー　376人	講義や体験だけでなく、妊娠期からの仲 間づくりの視点が必要。 育児休暇を取得する男性も多く、パート ナーシップについて、男性側のサポートも 含めた内容のニーズがある。	参加者を地域ごとにグループ化し、グ ループワーク等を通じた仲間づくりの場 を提供、パートナーシップについては、講 義、グループワーク実施。	D:事業を実 施 できな かつた	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	妊婦、パートナーともに昨年度に比 べて参加者数が増加した。 初妊婦の半数ほどに対して妊娠期 の支援を実施できていると考えられ る。	健康支援課
78	78-1	男女共同参画の視点を 含めた啓発紙・パンフ レット等の発行	子育てや介護などに関する パンフレット・チラシ等の作 成に際し、男女共同参画の 視点を含めた紙面づくりを 行います。		出生や転入に係る手続をされる保護者を対象に配 布している子育てハンドブックや子育てハンドブック の作成に際し、男女共同参画の視点に立った子 育て支援につながるよう、紙面づくりに配慮した。	作成した冊子について、広く手に取って もらえるよう周知を進めていく必要がある。	パンフレット・チラシ等の作成に際し、内 容やイラスト等を確認し、男女共同参 画の視点を含めた紙面づくりを行って いく。	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	男女共同参画の視点を含めた紙面 づくりに努めた。	子育てサービス課（旧： 子育て支援課）
78	78-2	男女共同参画の視点を 含めた啓発紙・パンフ レット等の発行	子育てや介護に関するパン フレット・チラシ等の作成に 際し、男女共同参画の視 点を含めた紙面づくりを行 います。		被保険者証交付時のリーフレットの送付、制度周知 用パンフレット作成と配布、広報への掲載等、制度 理解のための啓発を行いました。	特になし	介護制度について認識してもらえよう、 引き続き同様の啓発を行います。	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	パンフレットの配布等により、介護 が必要な方の家族や周囲の方のみ でなく、今後必要となる方につい ても制度の周知が図られた。広く周知 を図ることにより、介護負担が特定 の家族に偏ることなく社会全体で支 える意識を広めることができた。	介護保険課
79	79	父親の子育て参画を意 識した情報提供	保育所・幼稚園・こども園の 事業実施において、父親の 子育て参画を促す情報の 提供を行います。		保護者連絡アプリの活用により、以前よりも写真の 掲載や保護者に保育の様子・内容について伝える 機会が増え、父親とも情報を共有しやすくなった。	写真掲載の頻度や枚数の増加を希望 する保護者が多い。また、父親にも保育内 容等について理解してもらえる情報発信 の工夫が課題である。	保護者連絡アプリに掲載する写真や保 育内容等の情報について、配信回数 を増やしたり、保護者が知りたい内容につ いて掲載したりしていく。	B:あまり貢 献 できな かつた	B:あまり貢 献 できな かつた	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	行事への父親の参加や保護者連絡 アプリから保育の様子や内容を知る 機会が増え、子育てや教育・保育へ の関心が高まったと思われる。	こども保育課

基本目標	Ⅲ 多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	③家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援(重点施策)

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
80	80	男女が参加できる地域開放の充実	保育所所庭開放や幼稚園の子育てふれあい広場について、実施内容の充実を図ります。	【管理指標項目】 保育所所庭開放日数 【目標値】 現計画中に各施設週2回以上 【6年度実績】 各施設月2回以上実施 【管理指標項目】 子育てふれあい広場と施設開放の実施日数 【目標値】 各施設年間6回以上 【6年度実績】 各施設6回	保育所の所庭開放は、前年度より放時間を長くとり、在所児と同じ場で遊ぶ開放を取り入れた施設もあった。	男性職員が、所庭開放日や子育てふれあい広場当日に携わる機会を増やすことはできなかった。在園児との触れ合いの場や出し物などの機会に、男性職員との触れ合いの場作りを工夫していくことが課題である。	両親や祖父母など、子どもの養育に携わる家族の利用が少しずつ見られるようになってきている。引き続き、施設開放のアナウンスを行い、安心、安全に利用できる開放に努め、家族が継続的に利用していく施設開放を実施していく。	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	所庭開放や子育てふれあい広場実施についての周知が広まり、育児に携わる家族に身近な事業となってきたと考えるため。	こども保育課
81	81	多様な働き方を支援するための保育の拡充	保育所・こども園における時間外保育、産休明け保育、一時保育、預かり保育の実施内容などの拡充を図ります。		一時保育の予約について、利用者が予約をしやすいよう、LINE予約を構築し、10月予約分より運用を開始した。	一時保育のLINE予約システムを運用する中で課題を洗い出し、より多くの人が利用できるような見直しを図る必要がある。	より使いやすい予約システムとなり、利用者の利便性を高められるよう努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	一時保育の予約について、LINEでの予約システムを構築し、運用を開始することができた。	こども保育課
82	82	病児・病後児保育の周知	市内の病児・病後児保育の周知を行います。		市内こども園や保育所に入所する児童の保護者に対して、病児・病後児保育施設のチラシを配布した。 病児・病後児保育施設の情報広報に掲載した。	病児・病後児保育施設の利用がしやすくなるよう、利用方法の案内等を周知していく。	リーフレット・チラシの配布と併せて、病児・病後児保育施設の情報広報に掲載する。 令和4年4月1日から休室しているキッズケアルームなどについて、再開する際は改めて周知をしていく必要がある。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	利用会員、提供会員を対象とした研修会等を定期的に開催し、会員の知識や技術の向上を図った。	子育てサービス課(旧:子育て支援課)
83	83	ファミリー・サポート・センター事業などの充実	相互援助や組織の活用を行い、サービスメニューの拡大などや会員の確保を行うとともに、研修内容の充実を図ります。	【管理指標項目】 ファミリー・サポート・センター入会説明会の実施回数 【目標値】 定例会説明会38回、地域入会説明会4回、土・日入会説明会3回 【6年度実績】 定例会説明会47回、来庁入会説明18回、訪問入会説明1回	定例会説明会を行った。 定例会説明会に来られない方については、個別に来庁・訪問入会説明で随時対応した。	定例会説明会に来られない方について、個別で来庁・訪問入会説明ができることの周知方法を検討する必要がある。	定例会説明会と併せて、来庁・訪問での入会説明を行う。 研修会等を定期的に開催し、会員の知識や技術の向上を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	利用会員、提供会員を対象とした研修会等を定期的に開催し、会員の知識や技術の向上を図った。	子育てサービス課(旧:子育て支援課)
84	84	保育所についての情報提供の充実	働きやすい環境づくりのため、保育所入所に関する情報の提供に努めます。		・「広報習志野」及び市ホームページに保育所等入所募集記事を掲載するとともに、ホームページにおいては、月ごとの施設別・年齢別空き状況を掲載した。また、4月募集の申し込み状況(申込者、承諾者、不承諾者)、入所選考の基準早見表及び同点審査表、各施設の年齢ごとの承諾者数及び承諾者の最低点数を市ホームページにおいて公表した。 ・LINEを利用し、4月の保育所等申込案内、方法、入所選考の結果等、各月の施設別・年齢別空き状況について配信を行った。また、4月の保育所等の窓口での申込受付について、LINE等を活用して予約受付を行った。 ・電子申請受付について、「びったりサービス」に加え、新たに「ちば電子申請サービス」による受付を令和7年4月入所申込から開始した。	市ホームページの掲載内容や電子申請手続きについて、さらなる充実を検討する。	・令和6年度に引き続き、「広報習志野」及び市ホームページに募集記事を掲載するとともに、ホームページにおいて月ごとの施設別・年齢別空き状況を掲載する。また、4月募集の申込状況(申込者、承諾者、不承諾者)、入所選考の基準早見表及び同点審査表、各施設の年齢ごとの承諾者数及び承諾者の最低点数を市ホームページにおいて公表する。 ・LINEを利用し、4月の保育所等申込案内、方法、入所選考の結果等、各月の施設別・年齢別空き状況について配信を行う。また、4月の保育所等の窓口での申込受付について、LINE等を活用して予約受付を行う。 ・電子申請受付について、びったりサービスに加え、ちば電子申請サービスによる受付を継続して行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	こども保育課窓口をはじめ、広報習志野、市ホームページにて保育所等入所募集記事を掲載するとともに、ホームページにおいては、月ごとの施設別・年齢別空き状況を掲載した。また、4月募集の申し込み状況、選考結果、各月の空き状況を掲載した。また、LINEを活用した情報提供及び4月の保育所等の窓口での申込受付を行った他、びったりサービス、ちば電子申請サービスによる電子申請受付を行った。	こども保育課

基本目標	Ⅱ 多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	③家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援(重点施策)

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
85	85-1	子育て支援拠点での男性の参画促進	子育て支援拠点施設の土、日の開所などにより平日利用できない家庭も利用しやすい施設づくりを行います。		習志野市こどもセンター(寛沼)については土曜日、きらっ子ルームやつでは土曜日、日曜日に開所し、平日に利用できない父親や共働き家庭等の利用増加に努めた。	今後も、こどもセンター(寛沼)は土曜日に開所し、きらっ子ルームやつは土曜日と日曜日に開所し、平日に利用できない父親等の利用促進を図っていく。	・今後も、習志野市こどもセンター(寛沼)は土曜日に開所し、きらっ子ルームやつは土曜日と日曜日に開所し、平日に利用できない父親等の利用促進を図っていく。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	・土曜日、日曜日を開所することにより、平日に利用できない父親や共働き家庭等の利用促進に努めた。 ・窓口に手続きに来た際には、施設の説明を行い、利用促進に努めた。	こども家庭課(旧:子育て支援課)
85	85-2	子育て支援拠点での男性の参画促進	子育て支援拠点施設の土、日の開所などにより平日利用できない家庭も利用しやすい施設づくりを行います。		こども園こどもセンターの土曜日の開所を継続して実施している。	こども園こどもセンターで実施している行事について、土曜日に実施していない施設もあり、利用を十分に促すことができていないと思われる。	各こども園こどもセンターにおいて開催している行事の一部を、土曜日にも実施することで、土曜日の利用を促していく。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	平日以外に土曜日の開所を継続して実施している。また、利用しなくなる行事の実施を各施設で工夫している。	こども保育課
86	86	地域で支える子育ての機運の充実	地域ぐるみの子育て支援体制を推進するため、関係機関との連携を図ります。		きらっ子こどもまつりを開催した。 『ならしの孫育てハンドブック』を配布し、子どもが健やかに成長することができる環境づくりに努めた。	・今後も、地域ぐるみの子育て支援体制の推進のため、継続的にこどもセンター(寛沼)において地元町会、社会福祉協議会や子育て支援団体と協議し、事業等を実施する。 ・『ならしの孫育てハンドブック』を増刷し子どもが健やかに成長することができる環境づくりに努める。	各種イベント等を実施する。 『ならしの孫育てハンドブック』の配布を行う。	Bあまり貢献できなかった	Bあまり貢献できなかった	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	・きらっ子こどもまつりを開催し、地域交流のきっかけとなった。 ・『ならしの孫育てハンドブック』を継続して配布した。	子育てサービス課(旧:子育て支援課)
87	87	放課後児童会の充実	放課後児童会の施設整備を図り、充実した運営の提供に努め、安心して働くことができる環境づくりに取り組みます。また、支援員に対し、男女共同参画に関する研修を実施します。		・放課後児童会の施設整備を図り、令和4年8月1日時点で待機児童ゼロを達成してから、待機児童ゼロを維持することができた。また、職員不足の解消を目的とした民間業務委託を進めた。 ・男女共同参画に関する研修は実施しなかった。	・働く保護者の仕事と子育ての両立支援を目指し、児童会の施設整備と運営業務委託に取り組んだ結果、児童会施設の充実と待機児童ゼロを維持している。しかしながら、小学4年生以上の放課後児童会への入会希望が増加しているため、施設整備や委託化などを進めていく必要がある。 ・児童会の職員不足は解消されていない。 ・男女共同参画の理念やジェンダーに関する理解を深めるため、また多様化する社会へ対応していくために定期的な研修や指導が必要である。	・待機児童ゼロを維持するため、引き続き職員の雇用並びに施設整備及び運営業務委託等を実施する。 ・多様化する社会の中で、影響を受けやすい小学生の時期において、児童と育児支援及び家庭環境の支援が求められているなか、それに応じた職員の経験やスキルアップの必要がある。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	・児童会の施設整備と運営業務委託に取り組んだ結果、児童会施設の充実と待機児童ゼロを維持することができた。	児童育成課
88	88	子育て支援相談の充実	こどもセンター、きらっ子ルームの周知を行うとともに、子育てに関する情報提供を行い、安心して子育てできるよう、個々の家庭に応じた支援を行います。		習志野市こどもセンター(寛沼)、きらっ子ルームの利用者に対し、利用者と直接コミュニケーションをとる中で子育てに関する情報の提供を行うとともに、利用者個々の子育てに関する相談に随時対応した。 ・こどもセンターに新規配属される職員について養成講座を実施するとともに、事業運営の円滑化、各施設との情報共有に努める。 ・引き続き「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談体制の強化に努める。	・こどもセンター(寛沼)、きらっ子ルームやつの利用を促進していくとともに、子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)についても周知を図る。 ・こどもセンターに新規配属される職員について養成講座を実施するとともに、事業運営の円滑化、各施設との情報共有に努める。 ・引き続き「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談体制の強化に努める。	・こどもセンター(寛沼)、きらっ子ルームやつの利用を促進していくとともに、子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)についても周知を図る。 ・こどもセンターに新規配属される職員について養成講座を実施するとともに、事業運営の円滑化、各施設との情報共有に努める。 ・引き続き「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談体制の強化に努める。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	・習志野市こどもセンター(寛沼)、きらっ子ルームやつにおいて、子育てに関する情報の提供を行うとともに、利用者個々の子育てに関する相談に随時対応した。 ・こども部窓口にも子育て支援コンシェルジュを配置し、子育てに関する相談・情報提供、相談支援の体制を強化した。 ・子育て支援コンシェルジュ養成講座を実施し、男女共同参画についての研修を行った。	子育てサービス課(旧:子育て支援課)
89	89	乳幼児に対する健康相談などの充実	乳幼児の健康相談などを通じて、子どもの発育・発達を確認するとともに、生活習慣や生活リズム等の子育てについての相談に応じ、子育てへの不安を軽減し、より良い親子関係が形成できるよう支援を行います。		4か月児健康相談では、参加者同士の自己紹介の場を設けたり、交流を促すよう働きかけた。コロナ禍を経て10か月児健康相談を集合開催し、参加者同士の交流、仲間づくりを図ることができた。	父親の育児休暇取得が増加しているが、育児休暇終了後に母が不安や孤立感を抱きながら子育てに取り組むケースや、父親の育児不安等の課題が出てきている。健康相談の内容をどう充実させ、支援していくかの検討が必要。	母親だけでなく、父親に対しても乳幼児の健康相談を通して、子育てへの不安を軽減し、安定した家族関係の中で育児ができるよう支援する。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	健康相談の場で、母親だけではなく家族、夫婦関係の課題について把握、相談に対応し、関係機関につなぐことができた。	健康支援課
90	90	保健福祉サービスの充実、介護予防の推進	介護予防に関する事業や市民同士の支え合い活動などについての情報を高齢者にも十分提供し、これらの活動に男女が互いの特性を生かしあって参加できるよう支援します。		介護予防教室として、運動器の機能向上教室と認知症予防教室を実施し、活動性の維持・向上への支援をした。新規にLINE配信での周知と、ちば電子申請サービスでの申し込みを開始したところ、男性の参加割合が増加しました。	介護予防の内容の充実とあわせて、より多くの高齢者が参加できる機会の確保が必要です。	・参加希望者が多い認知症予防教室について、会場を増設するとともに、認知症の要因とされる聴覚についてミニ講座を実施します。 ・運動器の機能向上教室ではAIを用いた姿勢分析を取り入れます。 ・介護予防教室参加後も運動継続できるよう、地域の「通いの場」の情報提供をしていきます。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	・LINEとちば電子申請サービスの導入により申込者が増加し、男性参加者の割合も増えた。 ・介護予防や「通いの場」、市民同士の支え合い活動について情報提供を行うことができた。	健康支援課

基本目標	Ⅲ 多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	③家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
91	91	介護保険制度の内容理解に向けた啓発	「介護保険制度」について、性別にかかわらず、家族の負担軽減につながるよう、制度の啓発に努めます。		被保険者証交付時のリーフレットの送付、制度周知用パンフレット作成と配布、広報への掲載等、制度理解のための啓発を行った。	特になし	介護制度について認識してもらえるよう、引き続き同様の啓発を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	パンフレットの配布等により、介護が必要な方の家族や周囲の方のみでなく、今後必要となる方についても制度の周知が図られた。広く周知を図ることにより、介護負担が特定の家族に偏ることなく社会全体で支える意識を広めることができた。	介護保険課
92	92	介護者の支援体制の充実	市内5カ所の高齢者相談センター（地域包括支援センター）において、介護についての相談に対応し、必要な情報の提供を随時行います。		市内5カ所の高齢者相談センター（地域包括支援センター）において、介護についての相談に対応し、必要な情報の提供を随時行った。各センターから機関紙の発行を行った。 家族の相談対応件数 6,903件（R5）	各センターにおいて、個々に相談を受ける中で、家族構成や介護者の生活状況など総合的に判断することを心掛け、必要な情報の提供を行うことができる。	相談先としての認知度を上げるため、引き続き高齢者相談センターのパンフレットや機関誌の配布によりセンターの周知を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	高齢者人口の増加および単身、高齢者のみ世帯の増加に伴い、相談を必要とする者が多くなると推測されることから、さらに高齢者相談センターの周知に努め、情報提供ができる相談体制を進めていく。	高齢者支援課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安全に暮らせる環境づくり
課題	1 生涯にわたる健康維持への支援
施策の方向	① 生涯にわたる健康維持への情報提供と相談の充実

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
93	93	年代や個々に応じた健康教育、健康相談の充実	年代や性別に応じた健康教育の実施や個々に応じたきめ細やかな相談に努めます。		コロナ禍を経て、幼稚園健康教育や公民館等の講座で年代に応じた健康教育を実施した。	年代に応じた健康維持のための情報提供を継続して行う必要がある。	引き続き幼稚園健康教育や公民館等での健康教育を実施する。	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	コロナ禍で開催を見合わせていた幼稚園健康教育を、今年度から再開することができた。	健康支援課
94	94	健診(検診)に関する情報提供および受けやすい体制の整備	妊婦・乳幼児健診、成人の健康診査(がん検診など)の事業の充実、整備、情報の周知に努めます。		対象となる(健診)検診と、その受け方について、個別通知・再勧奨・ホームページ・広報・LINE配信等により、各対象者に届きやすい情報提供を行った。幼児健診では、引き続き予約システムを活用し、対象者が健診を受けやすいようにした。また、乳児対象の事業を再開したため、乳児の保護者への幼児健診周知の機会とした。	各健診(検診)の対象者に届きやすい方法で、わかりやすい情報提供を継続的に行う必要がある。	個別通知についてはナッジ理論を活用し、対象者が手に取って分かりやすい情報提供に努める。引き続き、ホームページ・広報・LINE配信を活用し、一年を通してタイムリーな情報提供や幅広い周知に努める。	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	ナッジ理論に基づく通知物の工夫により、受診率の向上につながった。幼児健診のシステム導入により検診の予約や変更がスムーズに行えるようになり、利便性が向上した。	健康支援課
95	95-1	性感染症・エイズ予防と喫煙・飲酒・薬物乱用防止の啓発	地域保健では、対象に合わせた啓発活動を行います。学校では、県主催の研修への教職員の参加を促進するとともに、児童生徒に適切な指導を行います。		小中学校と連携し、生活習慣病予防健康教育、歯科講演会等を実施し、喫煙や飲酒等と健康との関わり等についても指導した成人高齢者に向けて、睡眠と飲酒等についても情報提供を行った。	引き続き、年代に応じた健康づくり、生活習慣病予防、喫煙・飲酒等の情報発信を行う必要がある。	引き続き対象にあわせた健康教育を実施し、生涯にわたる健康維持への支援を行う。	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	コロナ禍で減少した小・中学校生活習慣病健康教育の実施件数は増加している。	健康支援課
95	95-2	性感染症・エイズ予防と喫煙・飲酒・薬物乱用防止の啓発	地域保健では、対象に合わせた啓発活動を行います。学校では、県主催の研修への教職員の参加を促進するとともに、児童生徒に適切な指導を行います。		県が主催する「性教育研修会」「薬物乱用防止教育研修会」の参加を促した	どちらの研修もWeb形式だったため、受講者が受けやすい時間帯での受講が可能であった。反面、受講期間が過ぎると視聴できないため、受講期間を失念しないような工夫が必要だと感じた。	来年度もWeb形式だった場合は、受講期間のリマインドを行い、申し込み者が全員受講できるように努める。	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	県営研修であることから、各校1名は研修を受けることができているため。	保健体育安全課
96	96	「生命と性」の健康についての理解の向上	各中学校区の実情に合わせ、中学校区地域保健連絡会などにおいて、「生命と性」の健康についての理解の向上に努めます。		市内7つの中学校区ごとに会議を2回開催した。全体研修会として発達段階に応じた性の教育についてをテーマに思春期保健講演会を開催した。	今後引き続き各中学校区で地域の子どもの健康課題を共有し、「生命と性」の健康についての理解の向上、健康づくりを推進していく必要がある。	来年度も引き続き各中学校区ごとに会議を2回開催。全体研修会として思春期保健講演会を開催し、「生命と性」の健康についての理解の向上、健康づくりの取り組みを進める。	B.あまり貢献できなかった	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	A.貢献できた	各中学校区で地域の子どもの健康課題を共有することができた。思春期保健講演会で全体で研修を受けることで、「生命と性」の健康について共通認識し、各機関での取り組みの充実につなげることができた。	健康支援課

		基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり									
		課題	1 生涯にわたる健康維持への支援									
		施策の方向	②安心して妊娠・出産できる環境に向けた支援									

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
97	97	切れ目ない母子健康支援	「妊娠届出」時に必ず看護職が妊婦やパートナーと面接し、その後のすべての節目の時期に妊娠・出産・子育ての状況を確認し、妊娠中から就学前まで切れ目のない母子健康支援を行います。		妊娠届出時、妊娠8か月頃、産後早期の時期に妊娠・出産・子育ての状況を確認し、妊娠中から就学前まで切れ目ない伴走型の相談支援を実施した。こども家庭センター設置により、母子保健と福祉が連携しながら支援した。	妊婦、乳幼児の直近の状況について、担当が不在であってもすぐに把握できるような仕組みづくりが必要。	こども家庭課の設置に伴い、地区担当保健師はこども家庭センター兼務となる。支援が必要なケースについてはより母子保健と福祉の連携強化を図る。適切な時期に支援、介入を行っていく。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	妊娠届出時より全数の状況把握を行っている。	健康支援課

基本目標		Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり														
課題		2 誰もが安心に暮らせる環境の整備														
施策の方向		①男女共同参画の視点に立ったひとり親家庭に対する支援														
No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標 実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
98	98	ひとり親家庭への相談体制の充実	関係機関との連携による情報収集により、個々のひとり親家庭の状況に応じた相談に対応します。		母子父子自立支援員がひとり親の抱える様々な課題に対し、長期的視点で支援を行った。また、必要に応じて関係機関との連携を図り、個々が置かれる状況に応じて適切な相談対応を行った。	ひとり親家庭を取り巻く環境は複雑化しており、様々な要因で生活困窮しているケースが見られる。多角的なアプローチで自立支援を行う必要がある。	引き続きひとり親家庭の抱える課題に対し、関係機関と連携しながら相談者によりそった自立支援を行う。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	相談者からのあらゆる相談に対し、自立支援員が積極的に情報収集を行い、必要に応じて関係機関を案内する等、きめ細やかな相談対応ができた。	子育てサービス課(旧：子育て支援課)
99	99	ひとり親家庭の生活の安定と福祉の増進	ひとり親家庭の生活の安定に資するため手当を支給するとともに、医療費の助成により福祉の増進を図ります。		ひとり親家庭の生活の安定に資するため、児童扶養手当の支給及び対象者に対しひとり親家庭等医療費助成受給券の発行を行った。	ひとり親家庭を取り巻く環境は複雑化しており、時代の変化に合わせて、手続きの簡素化、受給資格の確認等について柔軟に対応していく必要がある。	ひとり親家庭の生活の安定に資するため児童扶養手当及びひとり親家庭等医療費助成受給券の発行を行い、福祉の増進に努める。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	ひとり親家庭等への適切な手当の支給及び医療費助成を行い、ひとり親家庭の福祉の増進に努めた。	子育てサービス課(旧：子育て支援課)
100	100	ひとり親家庭の自立に向けた支援	ひとり親家庭の就労による自立を促進するため、給付金の支給や関係機関との連携により支援します。		必要に応じて自立支援プログラムの策定を行うなど、支援対象者に寄り添った就労支援を行うことができた。	必要に応じて自立支援プログラムの策定を行うなど、支援対象者に寄り添った就労支援を行うことができた。	必要に応じて自立支援プログラムの策定を行うなど、支援対象者に寄り添った就労支援を行うことができた。	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	A貢献できた	必要に応じて自立支援プログラムの策定を行うなど、支援対象者に寄り添った就労支援を行うことができた。	子育てサービス課(旧：子育て支援課)

基本目標	IV心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり
課題	2 誰もが安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	②男女共同参画の視点に立った高齢者、障がいのある人、外国人に対する支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課	
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
101	101-1	男女共同参画の視点に立った学習機会・情報の提供	千葉県生涯大学校の案内を行い、学習意欲のある高齢者の学習機会の場と情報を広く提供します。		令和7年度の入学案内について市広報紙で周知したほか、窓口にある案内書及び願書を配架し、希望者に配布した。	担当課窓口における配布期間中、実際に窓口で願書を受け取りに来たのは4名にとどまっている。また、追加募集もあり、希望者が少なくなっている。	市広報紙において生涯大学校の募集について掲載し、情報提供を行う。また、担当課窓口にも案内、願書を配架し、希望者に配布する。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	生涯大学校より依頼を受けた市広報紙への募集案内掲載及び案内書・願書の窓口配布について実施した。	高齢者支援課
101	101-2	男女共同参画の視点に立った学習機会・情報の提供	高齢者対象の学習機会、千葉県生涯大学校の案内などの情報を広く提供します。また、公民館活動において、高齢者を対象とした男女共同参画の視点に立った講座を実施します。		高齢者を対象とした「寿学級」を各公民館で実施し、男女を問わず参加できる学習プログラムを年間を通じて実施した。	寿学級生の年齢や健康状態の差により、身体を動かすことなど学習プログラムの配慮が必要である。	引き続き事業を実施するとともに、性別の違いに加えて、年齢や健康状態に配慮した事業実施を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各公民館における、年間を通じた取り組みを実施した。	公民館
102	102	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動における男女共同参画の促進	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動において、男女が共同参画できる環境づくりへの支援を行います。		老人クラブ連合会で実施した各種イベント事業について、企画から設営等全般に男女問わず会員が携わった。	男女問わず事業実施の際、各々の役割分担が徹底しておらず、スムーズな運営に支障が出ることがある。	老人クラブ連合会役員、参加会員に事業内容の周知を徹底する。また、事業の参加者を増やすため、老人クラブ会員に参加呼びかけを行う。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	連合会との調整及び各クラブに対して周知を図り、大きなトラブルなく事業は実施できた。	高齢者支援課
103	103	老人クラブ等の活動における男女共同参画の促進	老人クラブ等の高齢者の活動において、男女が共同参画できる環境や意識づくりへの働きかけを行います。		老人クラブ連合会の副会長及び役員、また単体老人クラブ会長も女性が就任しており、各種活動に意見をいただき、老人クラブの運営に反映させている。	男女問わずであるが、老人クラブ連合会の役員、単体老人クラブ会長などの受け手が高齢を理由に少なくなっており、解散する単体老人クラブもあり、今後の課題となっている。	皆が協力して事業を実施するため、役員改選時等、女性会員に参加を呼び掛ける。また、連合会役員がまちづくり会議において各単体老人クラブについて紹介するなど、会員を増やす取り組みを実施する。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	老人クラブ連合会の会議において、男女問わず各役員から様々な意見を伺うことができ、運営、事業等に反映させることができた。	高齢者支援課
104	104	障がいのある人の社会参加と就労支援の充実	男女を問わず障がいのある人の社会参加の促進や就労希望者に対する支援体制の充実を図ります。		・習志野市障がい者地域共生協議会雇用促進部会を年10回開催した。その中で、障がい者雇用をしている企業の見学会(1回)、また市内就労支援事業所を対象とした意見交換会(1回)を実施した。 ・市内の経済的中核を担う中小企業に対し、障がい者雇用に係る意識醸成を図るための啓発活動の一環としてパンフレットの作成を行った。	市内における障がい者の実習受入れの機会拡大及び障がい者雇用に対する理解促進	障がい者雇用に関する制度概要及び意義の周知、実習受入体制の整備、市内の障がい者雇用に係る課題の共有等を図るため、次年度においても、引き続きパンフレットの作成、市内就労系障害福祉サービス事業所との意見交換会等を実施するなど、段階的に左記課題の解決に向け必要な措置を講じていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	障がい者雇用の現状と課題に関する勉強会、企業・事業所見学会、就労系障害福祉サービス事業所との意見交換会、障がい者雇用促進に向けたパンフレットの作成等の取組を行い、雇用促進部会として市内の障がい者雇用に係る課題を把握し、障がい者の就労に係る支援体制の充実を図ることができた。	障がい福祉課
105	105	障がいのある人の相談	障がい者地域共生協議会の活動や障がいのある人の相談支援体制の充実を図ります。		・協議会の全体会、運営会議、各専門部会の活動を通じ、地域の課題について協議、検討を行った。 ・地域生活支援拠点等の専門的人材の確保・養成の取り組みとして、市内障害福祉サービス事業所職員への研修会を開催した。		・協議会については、令和7年度が委員の任期の最終年であることから、次期協議会での検討事項や協議会の体制についての協議を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・年3回発行する広報紙「ならとも」を通して、障害福祉サービスや障がいのある人への理解促進を図った。 ・専門部会においても、それぞれの部会の目的を持ったチラシを作成するとともに、商工会議所の総会や各部会において周知啓発を行った。	障がい福祉課
106	106	障がいのある人のスポーツ・レクリエーション活動の充実	男女問わず参加できる障がい者スポーツ大会の実施やレクリエーション活動の充実を図ります。		・習志野市ユニバーサルスポーツ交流会の実施	実施スポーツや開催方法が例年同様なため、今後どのように変えていくかが課題である。	障害者スポーツのコーディネーターを活用して取り組む。	A:貢献できた	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	習志野市ユニバーサルスポーツ交流会でポッチャの等を実施し、障がいのある人もない人も交流して競技ができた。	障がい福祉課
107	107	【新規】多文化への理解促進	国際交流協会を中心に、姉妹都市との交流など、国際交流により、多文化への理解を深め、相互理解の促進を図ります。		市国際交流協会に対し補助金交付及び市庁舎分室の会議室の提供を行い、協会の活動を支援した。協会では、市民まつりや部会講演会などでPR活動を行い、多文化への理解を深めた。その他、SDGsカードゲーム「ゲットサポイント」を市内小学校や市内団体に向け実施し、持続可能な社会についての学びを提供するとともに、姉妹都市市交流について情報を発信した。	令和8年度は、姉妹都市提携40周年事業及び姉妹都市青少年交流事業の実施予定年である。両事業を実施した最終年度は平成28年度であり、当時とは渡航費用や委託費が異なり、大幅に高騰している。予算編成や、国際交流基金からの繰り入れ額等の精査をおこなう。	タスカルーサ市側の体制も変化したことから、両市の重要視するもの、優先順位をきちんと明確にとらえ、タスカルーサ市と定期的に連絡を取り合い、計画を進めていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	協会行事における会場確保や後援事務など、実施にあたり多方面からサポートできた。	協働政策課
108	108	【新規】外国人向けの日本語教室の開催	外国人が安心して日常生活、社会生活を送れるよう、国際交流協会が実施する日本語教室を支援します。		市国際交流協会への補助金の交付と市庁舎分室の会議室の提供などを通じ、日本語教室の実施に係る財政的支援を行った。	日本語教室は、対面学習を選択する人の方が多く、ある程度広い会場を確保することや会場の固定化など、学習者にとって快適な環境を提供できるよう引き続き支援が求められる。	習志野市国際交流協会運営費補助金を通じた財政的支援及び学習会場の確保、日本語教室のPRを行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	教室の確保や提供を要望に応じて対応できた。	協働政策課

基本目標	V 将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	I 市民と行政による連携の強化
施策の方向	① 男女共同参画センターを中心とした市民協働の推進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
109	109	男女共同参画推進登録団体連絡会の開催と連携・協働	男女共同参画推進登録総会を開催し、団体との情報交換を図るとともに、各団体の活動報告や研修会を通して、団体間の連携を図ります。	【管理指標項目】 男女共同参画推進登録団体連絡会および研修会等の開催回数 【目標値】 年2回 【6年度実績】 2回	令和7年3月に団体連絡会議を開催。団体との情報交換を図った。また、団体の研修会の一環として「習志野市制施行70周年記念習志野市男女共同参画週間事業・労働講演会」に参加いただき、ワーク・ライフ・バランスへの理解を深めた。	令和5年度団体連絡会議の場にて、団体の活動をPRする場を提供してほしいとの意見があがったことから、「習志野市制施行70周年記念習志野市男女共同参画週間事業・労働講演会」の開演前の舞台上にて団体活動の画像を放映した。引き続き、団体との連携を図る取り組みを検討していく必要がある。	今後も団体と情報交換を行い、活動報告や研修会を通して、団体間の連携を図る。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	「習志野市制施行70周年記念習志野市男女共同参画週間事業・労働講演会」の開演前の舞台上にて団体活動の画像を放映し周知した。	多様性社会推進課
110	110	男女共同参画推進登録団体などとの協働によるイベントの実施	男女共同参画推進登録団体や情報紙「きらきら」の編集委員などと男女共同参画の啓発、推進を図るため、市民との協働によるイベント、講座などを実施します。また、登録団体主催事業を積極的に支援します。		・「習志野市制施行70周年記念習志野市男女共同参画週間事業・労働講演会」を開催。実施にあたり、運営委員会を開催(3回)。 ・情報紙「きらきら」の編集委員と協働で年2回情報紙を発行した。 ・令和6年11月に行われた「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展示では、男女共同参画推進団体と協働で行った。	引き続き機会をとらえて市民・登録団体との連携を図る必要がある。	男女共同参画週間事業運営委員会を立ち上げ、事業実施に向けて検討を進めている。 引き続き情報紙「きらきら」の発行を市民と協働で行う。 また、団体活動の支援に取り組む。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	情報紙「きらきら」及び男女共同参画週間事業を市民と協働で実施することができた。	多様性社会推進課
111	111	市民参画による情報紙の企画・編集	市民編集委員と協働で、男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」の企画・編集を行います。		情報紙「きらきら」は、市民公募の編集委員5名とモートを活用しながら、9回の会議を開催した。 令和6年9月(第58号)発行 令和7年2月(第59号)発行	編集における工夫や、情報共有を行い、紙面づくりを行う必要がある。 編集委員と連携を図り、委員募集や取材先の検討を行っていく必要がある。	情報紙「きらきら」の発行に向けて、市民と協働で企画・編集を進めていく。	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	市民と協働で、家庭における男女共同参画及び多様な働き方など、様々なテーマを特集し年2回発行することができた。	多様性社会推進課

		基本目標	Ⅴ 将来像の実現に向けた推進体制づくり												
		課題	2 計画推進体制の強化												
		施策の方向	① 習志野市男女共同参画審議会の充実												
No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標 実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度							担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由	
112	112	男女共同参画審議会と 事業担当課との連携	男女共同参画審議会や同 審議会が設置する部会の 意見に基づき、計画の事業 担当課などとの対話の機会 を調整します。	【管理指標項目】 男女共同参画審議会と 事業担当課との対話の 実施回数 【目標値】 年1回 【6年度実績】 1回	令和6年7月・8月に事業評価部会を設置した。 今年度は、第3次計画の令和5年度における成果指 標・参考指標・管理指標の評価を踏まえた現状と課 題について、次長職で構成される習志野市男女共 同参画施策庁内推進会議との対話を行い、次期計 画策定に向けた対話(意見交換)の場とした。	これまで、重点施策をテーマとして事業 評価部会と事業担当課との対話を行って きたが、今年度は次期計画策定に向け て次長職で構成される習志野市男女共 同参画施策庁内推進会議との対話を行 った。 引き続き、事業評価と合わせ、次期計画 策定に向けた協議の場とするよう調整を 図る必要がある。	引き続き、事業評価と合わせ、次期計画 策定に向けた協議の場とするよう調整を 図る必要がある。	D:事業を実施 できなかった	S:大いに貢献 できた	S:大いに貢献 できた	S:大いに貢献 できた	S:大いに貢献 できた	S:大いに貢献 できた	これまで、重点施策をテーマとして 事業評価部会と事業担当課との対 話を行ってきたが、今年度は次期計 画策定に向けて次長職で構成され る習志野市男女共同参画施策庁内 推進会議との対話を行ったことで、 本市の男女共同参画に関する現状 と課題について、より積極的な意見 交換を行うことができた。	多様性社会推進課

基本目標	V 将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	2 計画推進体制の強化
施策の方向	② 庁内の連携と推進体制の強化

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
113	113	事業担当課の取り組みに対する相談支援、助言	市が実施する取り組みの中に男女共同参画の理念を反映させるため、本計画の取り組みを実施する事業担当課への情報提供に努め、積極的に相談支援および助言などを行います。		・第3次男女共同参画基本計画の令和5年度の取り組みについて、評価が低かった担当課へのヒアリングを行った。 ・今年度は、各課が所管する実施計画等の見直しにあたり、市民意識調査が行われていることから、性別欄の記載方法等について、全庁周知を行うほか、担当課に対して助言を行った。	引き続き担当課の事業の取り組み状況について確認をし、積極的な相談支援及び情報提供を行う必要がある。	事業の取組状況を確認し、積極的な相談支援及び情報提供を行う。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	今年度は、各課が所管する実施計画等の見直しにあたり、市民意識調査が行われていることから、性別欄の記載方法等について、全庁周知を行うほか、担当課に対して助言を行った。	多様性社会推進課	
114	114	男女共同参画施策庁内推進会議の充実	男女共同参画審議会などとの対話の機会を有効に活用しながら、柔軟にかつ迅速な視点にたち、庁内における男女共同参画の取り組みを推進します。		男女共同参画施策庁内推進会議を3回実施。(令和6年6月、11月、3月)	令和6年度から男女共同参画審議会の構成委員を「次長職及び課長職」から「次長職」に限定して組織化したことで、より迅速かつ具体的な意見交換ができるようになった。 引き続き、男女共同参画施策について、検討を進めてい必要がある。	引き続き、男女共同参画施策について、検討を進めてい必要がある。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	庁内推進会議を実施し、第3次男女共同参画基本計画の令和5年度評価について共有し、現状把握及び改善案について、次期計画の策定に向けた内容の検討を行った。	多様性社会推進課	
115	115	庁内プロジェクト等の強化	男女共同参画施策庁内担当者会議をはじめ、市民、関係機関などとの連携を図り、多様な意見を交えながら、取り組みの充実、強化を図ります。		迅速かつ具体的な連携を図るため、担当者会議を廃止し、男女共同参画施策庁内推進会議にて協議を行った。	多様な課題に対して、迅速かつ具体的に連携を図っていくため、男女共同参画施策庁内推進会議にて協議を行った。	今後も事業担当課に対して、ヒアリングを強化するほか、研究会の立ち上げなどを検討し、連携の強化を図る。	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	D:事業を実施できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	A:貢献できた	多様な課題に対して、迅速かつ具体的に連携を図っていくため、男女共同参画施策庁内推進会議にて協議を行った。	多様性社会推進課	

		基本目標	Ⅴ 将来像の実現に向けた推進体制づくり												
		課題	2 計画推進体制の強化												
		施策の方向	③国・他の地方公共団体・公共的団体との連携強化												

No.	事業コード	事業名	事業内容	R6管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度								担当課
					令和6年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	令和6年度の 貢献度	評価の理由		
116	116	国・他の地方公共団体・公共的団体との連携・協力体制の充実	国・他の地方公共団体・公共的団体との連携を密にし、協力して課題解決に取り組めます。		【関係会議への出席】 令和6年5月28日 男女共同参画センター等連絡会議 令和7年1月16日 千葉男女共同参画行政担当者連絡会議(オンライン開催) 令和6年10月25日 DV被害者等支援連絡会議 令和7年2月14日 習志野健康福祉センター・中核地域生活支援センター・習志野圏域連絡調整会議 その他、千葉県地域推進員会議への参加	関係機関との連携機会が増えてきているため、積極的に情報収集を行うなどして、関係機関との連携を図る必要がある。	引き続き関係会議に出席し、国や県の情報収集に努め、近隣自治体の取り組みについて情報交換を行い、連携を図る。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	会議に積極的に参加する機会を持つことができた。	多様性社会推進課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	①DV防止のための広報・啓発

【R5管理指標実績】	【令和5年度事業実績】	【事業実績における課題】	【次年度における具体的な取り組み】	【令和6年度貢献度】	【担当者】
取り組み内容が記載されている事業は、記載内容を確認頂き、令和5年度実績を記入してください。 斜線となっている場合、記入は不要です。	実績について、具体的な内容を記入してください。 数値化できるものは実績値を記入してください。	事業実績における課題について記入してください。	事業実績における課題を解決するため 次年度の具体的な取り組みを記入してください。	基本目標の実現にどれだけ貢献したのか、貢献度を次の項目から選択してください。その選択の理由も記入してください。 S：大いに貢献できた A：貢献できた B：あまり貢献できなかった C：貢献できなかった D：事業を実施できなかった	記載内容を確認させていただく際の御担当者名を御記入下さい

令和6年度

基本目標 I

基本目標 II

基本目標III

重点6

基本目標IV

基本目標 V

総計	
32	22.1%
105	72.4%
5	3.4%
2	1.4%
1	0.7%

145

重点1 重

100.0%

100.0% 60.0% 77.8% 100.0% 80.0% 100.0% 88.9%